

市に裁量のある事業見直し  
**事務事業詳細説明資料**  
(教育・文化分野及び産業・観光分野)

## 事務事業詳細説明資料の記載内容について

各事務事業について、下記のとおり記載しています。

項目	説明
事務事業名	事業名称を記載しています。
所管部課	所管している部課名を記載しています。
事業内容	事業内容について、制度の対象要件や個々の事業内容の詳細などを記載しています。各事業内容の最後には、その事業にかかる平成25年度当初予算額を( )内に記載しています。
事業の対象 (対象)	当該事業の対象者を記載しています。
事業の対象 (人数・数量等)	当該事業の対象の人数・数量等をデータ把握時点とあわせて記載しています。
事業開始年度	当該事業の開始年度を記載しています。(同じ事業内の中で開始年度が異なる複数の事業がある場合は、一番古い開始年度を記載)
市の裁量の度合い	市にどの程度の裁量があるのかを以下の4つに分類し、記載しています。 (1) 法令による義務付け(手法や事業費の見直し余地なし) 法令及び県の条例等により実施される事業で市に裁量の余地がないもの (2) 法令による義務付け(手法や事業費の見直し余地あり) 法令及び県の条例等により実施自体義務付けされているが、その手法等に市の裁量の余地があるもの (3) 法令による努力義務 法令及び県の条例等により市の努力義務とされているもの (4) 法令による規定なし 市の裁量により実施されているもの
根拠法令・要綱等	当該事業の実施の直接の根拠となる法律・政令・省令・条例・規則・要綱等を記載しています。
事業の変遷	当該事業のこれまでの制度や事業内容の変遷を記載しています。
経費の負担	当該事業における国、県、市、事業者、市民等の経費の負担割合や負担額をそれぞれの事業内容や制度ごとに記載しています。
事業費の推移	当該事業における平成20年度以降の事業費及び財源内訳を記載しています。また、複数の事業内容がある場合に、個々の事業内容にかかる経費の推移を比較するため、事業内容ごとの事業費を必要に応じて記載しています。 ※財源内訳の語句説明 ①「国支出金」及び「県支出金」・・・国、県からの補助金など使途が特定されている財源 ②「地方債」・・・建設事業等にあてるための市の借入金 ③「その他」・・・負担金や手数料など使途が特定されている財源 ④「一般財源」・・・市の裁量で自由に使途が決められる財源
事業の実績の推移	当該事業における実績を記載しています。
他自治体等の比較	当該事業における他自治体の実施状況を記載しています。 原則、近隣市である神戸市、稲美町、播磨町、加古川市、高砂市、姫路市について、把握しているデータを記載しています。 また、必要に応じて、県内自治体や特例市(市の規模が類似する自治体)などの類似自治体の実施状況も記載しています。 ※特例市・・・日本の大都市制度の一つで指定要件は法定人口20万人以上。 指定により市に都道府県の事務権限の一部が移譲される。 ※事業の性質上、比較が困難な事業については、省略しています。
将来の事業推計	対象者の増減など市外部の社会的要因等によって、現在の制度やしきみを維持したままでも、将来の事業費が変動すると見込まれる個人給付やサービスなどの事業について、平成30年度の事業費見込み及び算出の前提条件を記載しています。 ※該当しない事業については、省略しています。

事務事業詳細説明資料

No.	101	事務事業名	幼児教育振興事業	所管部課	子ども未来部子ども育成室			
<b>事業内容</b>								
<p>・幼児教育の推進のため、市内の市立・私立幼稚園の教職員及び園児並びに保護者を対象に支援を行う。</p> <p>・教職員の資質向上のため、研修、研究発表会及びグループ研究を実施。(6,978千円)</p> <p>・市立幼稚園の運営及び職員の採用。(4,077千円)</p> <p>・私立幼稚園等に在籍する園児の保護者及び市立幼稚園等に在籍し、多子世帯に該当する園児の保護者に対する補助を行う。(13,638千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市内私立幼稚園の教職員及び園児並びに保護者、市内在住の私立幼稚園に就園させている園児・保護者			人数・数量等	337人、2園 (平成24年 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和22年度	法令による義務付け (手法や事業費の見直し余地あり)		学校教育法第5条、私立学校振興助成法第1条、明石市私立学校等の振興助成に係る補助金交付要綱第1条、明石市私立学校幼稚園等に在籍者保護者補助金要綱第1条等					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 44 年度	私立幼稚園に通う4歳児の保護者に対し、負担の軽減を図り、幼児教育の振興を目的に、補助金制度が開始される							
昭和 47 年度	上記保護者補助制度の適用年齢を5歳児に拡大する							
昭和 49 年度	振興助成にかかる補助金要綱を設置し、市内6園の私立幼稚園に対し補助を行った【園児割1800円/年・教職員研修助成36,000円/人】							
昭和 56 年度	振興助成に係る補助金額の配分基準を改正【園割200千円・園児割1,800円/年・職員研修助成60千円】 私立幼稚園4園							
昭和 57 年度	明石朝鮮初級学校(幼稚班)の設置者を対象とする							
昭和 63 年度	明石朝鮮初級学校(小学班)を補助対象に加える。現時点での私立幼稚園3園【児童割1,800円/年】							
平成 2 年度	振興助成に係る補助金額の配分基準を改正【園割300千円・園児割3,600円/年・児童割3,600円/年・障害者担当職員割60千円/年・教職員研修助成60千円/人】 私立幼稚園2園 保護者に対する保補助金については、保護者が任意で就園させているとの判断から、助成の意味が薄れており、廃止が妥当との意見が出される。しかしながら、私立幼稚園の経営圧迫が憂慮されることから就園希望者減少の歯止めとして存続【4歳児2000円・5歳児1000円】							
平成 3 年度	振興助成に係る補助金額の配分基準を改正【園割400千円・市内居住園児割10,800円/年・市外居住園児割7,200円/年・その他据え置き】							
平成 4 年度	振興助成に係る補助金額の配分基準を改正【園割500千円・市内居住園児割18,000円/年・市外居住園児割12,000円/年・児童割7,200円/年・その他据え置き】							
平成 5 年度	保護者に対する補助金額【4歳児2,000円・5歳児1000円・生活保護5,000円】							
平成 7 年度	保護者に対する補助金額の変更に加え、朝鮮学校在籍園児及び児童を補助対象に含む。【4歳児2,000円・5歳児2,000円・生活保護5,000円・朝鮮初級学校児童2,000円】							
平成 18 年度	地方交付税の交付額が減少したことに伴い補助事業の見直しが図られる。 保護者補助【月額2000円→1000円・生活保護5000円→2500円】 振興助成にかかる補助金【園割400千円・市内居住園児割14,400円/年・市外居住園児割9,600円/年・障害児担当職員割48,000円/人・教職員研修助成48,000円/人】							
平成 19 年度	私立幼稚園における教育の重要性に鑑み、さらなる振興を図るため、保護者が負担しなければならない費用に対し月額800円を生活保護者に月額2,000円を援助する。							
平成 24 年度	就学・就園事業→幼児教育振興事業(平成25年度より)							
<b>事業の変遷 備考</b> 平成23年度までは、教育委員会の事業であった。								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	16,498	15,664	17,191	13,115	12,664	24,693	
	国支出金	0	0	0	0	0	413	
	県支出金	1,765	1,397	2,071	1,727	2,407	2,899	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,733	14,267	15,120	11,388	10,257	21,381	
私立幼稚園在籍保護者支援		8,723	8,249	7,731	7,292	7,132	7,530	
私立幼稚園振興助成		3,802	3,878	3,974	2,360	2,238	2,490	
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
私立幼稚園在籍保護者支援		人	411	381	362	342	337	449
私立幼稚園振興助成		園	3	3	3	2	2	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	1人当たりの私立幼稚園在籍保護者支援事業コスト(円)	1人あたりの私立幼稚園振興助成事業コスト(円)	要素3	要素4	要素5			
明石市	22500	22500						
神戸市	70600	9800						
稲美町	49000	制度なし						
播磨町	制度なし	制度なし						
加古川市	制度なし	10000						
高砂市	制度なし	制度なし						
姫路市	2800	7200						

事務事業詳細説明資料

No.	102	事務事業名	学校園運営支援事業	所管部課	教育委員会事務局学校管理課			
<b>事業内容</b>								
<p>・学校園の円滑な運営および教育環境の充実のため、コンピュータネットワークの整備、学校災害賠償補償保険の加入、のびのびパスポートの配付等を行う。</p> <p>・のびのびパスポート(明石市・神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市・三田市・三木市・洲本市・南あわじ市・淡路市・鳴門市・徳島市の教育関連施設を小学生・中学生に無料で開放するパスポート)を小、中学生に配付する。(事業費520千円)</p> <p>・学校管理下で発生する事故に備え、全国市長会の学校災害賠償補償保険(園児児童生徒一人あたり79.6円)に加入する。(事業費2,247千円)</p> <p>・小学校・中学校・養護学校の職員室に校務用コンピュータの整備(賃借・保守)、学校園に配備したコンピュータのセキュリティ対策のためのウイルス対策やフィルタリングソフトの購入、教育情報通信ネットワークやヘルプデスクシステムの機器の整備(賃借・保守)を行う。(事業費32,884千円)</p> <p>・清水が丘学園・明石学園(清水小学校・魚住中学校の分教室)の光熱水費を負担する。(事業費740千円)</p> <p>(その他の事業費626千円)</p>								
対象	明石市立幼稚園・小学校・中学校・養護学校・明石商業高等学校の園児・児童・生徒・教職員及び神戸大学附属小・中・特別支援学校の児童・生徒			人数・数量等	29,711人 (平成25年5月時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
不明	法令による義務付け (手法や事業費の見直し余地あり)			学校教育法第5条				
<b>事業の変遷</b>								
不明	「教育委員会事務局運営事業」を開始							
平成 4 年度	のびのびパスポート事業を開始。							
平成 20 年度	教育情報通信ネットワーク機器を更新(平成21年3月)。							
平成 21 年度	組織改正により、教育総務課から学校管理課に事務の一部を移管。							
<b>経費の負担</b>								
市負担100%								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	17,770	32,810	38,090	37,400	35,770	37,017	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	17,770	32,810	38,090	37,400	35,770	37,017	
のびのびパスポート配付経費		257	257	226	229	257	520	
全国市長会学校災害賠償補償保険料		2,381	2,361	2,337	2,308	2,283	2,247	
学校園コンピュータ整備および教育通信ネットワーク整備にかかる経費		12,797	28,609	34,575	33,904	31,448	32,884	
明石学園・清水が丘学園光熱水費分担金		518	518	515	520	709	740	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
のびのびパスポート配付者数		枚	26,535	26,288	25,879	25,446	25,016	24,616
全国市長会学校災害賠償補償保険加入者数		人	29,912	29,663	29,360	29,002	28,677	28,218
学校園コンピュータ整備台数		台	3,392	4,394	4,599	4,884	4,884	4,884
事業の実績 備考		のびのびパスポート利用状況:有料41施設で294,322人が利用(平成24年度のびのびパスポート配付者数は277,315人(神戸市ほか12市町))						
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	のびのびパスポート事業の参加	全国市長会学校災害賠償補償保険加入状況	教員へのコンピュータ整備状況	要素4	要素5			
明石市	参加	加入	100%					
神戸市	参加	未加入	100%					
稲美町	参加	—	2/3程度(平成26年度に100%予定)					
播磨町	不参加	—	100%					
加古川市	不参加	加入	1/2程度					
高砂市	不参加	加入	1/5程度(平成25年度11月に100%予定)					
姫路市	不参加	加入	100%					
他自治体比較 備考		のびのびパスポート事業は神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市・三田市・三木市・稲美町・洲本市・南あわじ市・淡路市・鳴門市・徳島市と共同して実施。						

## 事務事業詳細説明資料

No.	103	事務事業名	学校美化・緑化推進事業		所管部課	教育委員会事務局学校管理課		
<b>事業内容</b>								
<p>・学校が、参画と協働の理念に基づき「学校・家庭・地域社会の連携」を目指し、教職員、児童、生徒だけでなく保護者、地域の方々の協力のもとに、施設の改善・美化・緑化を自ら行い、快適な教育環境の維持管理に寄与するとともに、学校内外での愛校心の醸成を図る。</p> <p>・校内の清掃、溝の泥上げ、教室・廊下のワックスがけ、校舎内や遊具のさび落とし・ペンキ塗り、簡単な修繕、樹木の剪定、草刈、花壇の整備（事業費7,120千円）</p> <p>・校庭の芝生の維持管理（事業費5,120千円）</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石市立小学校・中学校・養護学校・高等学校の児童・生徒・教職員・保護者、地域住民				人数・数量等	小学校28校、中学校13校 養護学校1校、高等学校1校 (平成25年4月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
平成15年度	法令による義務付け (手法や事業費の見直し余地あり)			学校教育法第5条				
<b>事業の変遷</b>								
平成 15 年度	「みんなで学校園を美しくする運動事業」を開始。(幼稚園・小学校・中学校・明石養護学校・明石商業高等学校)							
平成 16 年度	「学校園庭芝生化推進事業」を開始。(幼稚園・小学校・中学校・明石養護学校)							
平成 24 年度	組織改正により、幼稚園についてはこども育成室に移管。							
平成 25 年度	「みんなで学校園を美しくする運動事業」と「学校園庭芝生化推進事業」を統合し、「学校美化・緑化推進事業」を開始。							
<b>経費の負担</b>								
市負担100%								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	35,190	37,320	31,216	29,874	17,564	12,240	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源 一般財源	0 35,190	0 37,320	0 31,216	0 29,874	0 17,564	0 12,240	
学校美化活動経費		24,660	24,522	20,165	19,276	11,424	7,120	
学校緑化活動経費		10,530	12,798	11,051	10,598	6,140	5,120	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
芝生化実施校数		校・園	51	51	53	54	24	25
芝生化実施面積		㎡	17,996	19,017	19,352	19,303	10,390	10,890
保護者・地域の方が参加した美化活動を行った学校園		校・園	-	55	54	54	23	23
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	校庭の芝生化	校庭芝生維持管理費	要素3		要素4		要素5	
明石市	一部の学校で実施	市で負担						
神戸市	一部の学校で実施	市で負担						
稲美町	制度なし	制度なし						
播磨町	制度なし	制度なし						
加古川市	一部の学校で実施	負担なし						
高砂市	一部の学校で実施	市で負担						
姫路市	一部の学校で実施	負担なし						

# 事務事業詳細説明資料

No.	106	事務事業名	学校給食一般運営事業	所管部課	教育委員会事務局学事給食課			
<b>事業内容</b>								
安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに学校給食を通じた食育を実施する。								
1 給食の実施回数 年間185回 給食費 月額4,000円 自校調理方式 H25 直営調理校 15校 民間調理委託校 14校 2 地産地消や食育の観点から、給食に明石の食材(明石のりなど)を使用。 3 毎月の学校給食献立表を作成し、児童の保護者等に配付。 4 就学援助や特別支援教育就学奨励に該当する児童・生徒に給食費の扶助。 就学援助児童扶助額 H22 2,998人 126,335千円 H23 2,805人 118,283千円 H24 2,689人 112,881千円 特別支援教育就学奨励児童扶助費 H22 85人 1,806千円 H23 96人 2,051千円 H24 105人 2,233千円 【人数は、3月における人数。扶助額は、年間額】 5 関係書籍・資料や消耗品を購入し学校給食や食育の啓発を行う。 6 毎年1月の給食週間に学校給食展を実施し、学校給食の取り組みを市民に紹介。 学校給食展の参加人数 H21 900人 H22 800人 H23 850人 H24 1100人								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石市立小学校及び明石養護学校の児童生徒			人数・数量等	15,890人 (平成25年5月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和45年度	法令による努力義務		学校教育法第21条第4号・学校給食法第4条・明石市就学援助規則・明石市特別支援教育就学奨励に関する要綱					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 45 年度	市内小学校の献立を統一し、明石市学校給食会による給食物資の一括購入を開始							
昭和 56 年度	米飯給食(週2回)の実施を開始							
平成 元 年度	学習指導要領の改訂で学校給食は特別活動の「学級活動」に位置付けられるようになった。							
平成 7 年度	第1回明石市学校給食展開催							
平成 15 年度	明石養護学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 16 年度	江井島小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山手小学校の給食調理業務を民間委託化</li> <li>・食育基本法が制定された</li> </ul>							
平成 18 年度	二見小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二見北小学校の給食調理業務を民間委託化</li> <li>・米飯給食の実施回数を週3回に増加</li> </ul>							
平成 20 年度	錦浦小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚住・沢池小学校の給食調理業務を民間委託化</li> <li>・学校給食法が改正され、学校給食の主たる目的が、これまでの「栄養の改善」から、食の大切さや文化、栄養バランスなどを学ぶ「食育」の観点に変更された。</li> </ul>							
平成 22 年度	藤江・花園小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 23 年度	大久保・清水小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 24 年度	人丸小学校の給食調理業務を民間委託化							
平成 25 年度	大久保南小学校の給食調理業務を民間委託化							
<b>経費の負担</b>								
給食実施に係る経費 人件費・施設整備費・光熱水費⇒市負担 食材費⇒保護者負担 月4,000円								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	361,114	401,923	443,561	486,139	495,108	499,699	
	国支出金	535	654	468	696	798	700	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	1,446	882	1,134	1,071	862	827	
	一般財源	359,133	400,387	441,959	484,372	493,448	498,172	
	給食調理業務民間委託費	127,872	179,697	220,538	268,926	290,724	317,667	
	明石産海苔活用委託費	3,500	3,500	(6,382)	5,855	5,242	4,000	
	明石市学校給食展開催費(消耗品費・役務費・委託料・使用料)	508	193	507	396	508	546	
	明石市学校給食会業務運営費補助	4,667	13,168	13,695	13,568	13,552	14,661	
準要保護児童扶助費(給食費)	111,561	119,392	126,335	118,283	112,881	121,616		
特別支援教育就学奨励扶助費(給食費)	1,542	1,798	1,806	2,051	2,233	3,080		
<b>事業費 備考</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度の明石産海苔活用委託費については、予算主管課が農水産課(地産地消推進事業費として700万円)に変更となった経緯がある。このため、当該内訳分については農水産課における執行金額を括弧で表示している。</li> <li>・平成21年度の学校給食展開催費については、明石市学校給食会が助兵庫県体育協会より助成を受けた「学校給食研究事業助成金(30万円)」を充てたため、市費の負担が軽減している。</li> </ul>						
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
給食調理業務民間委託校数		校	6	8	10	12	13	14
給食調理業務民間委託進捗率(校数ベース)		%	20.7	27.6	34.5	41.4	44.8	48.3
明石産海苔の給食提供数		食	203,351	177,019	352,215	373,063	380,793	285,450
学校給食展の来場者数		人	1,200	900	800	850	1,100	1,000
準要保護児童扶助費受給者数		人	2,850	2,912	2,998	2,805	2,689	2,500
特別支援教育就学奨励扶助費受給者数		人	80	81	85	96	105	120
<b>事業の実績 備考</b>		平成20年度における準要保護児童扶助費受給者数及び特別支援教育就学奨励扶助費受給者数については、推定人数						

## 事務事業詳細説明資料

No.	106	事務事業名	学校給食一般運営事業	所管部課	教育委員会事務局学事給食課
他自治体との比較					
自治体名	小学校給食費 (月額)	小学校給食費 (1食あたり)	給食調理業務の民間委 託校数(小・養)	給食調理業務の民間委 託進捗率(校数ベース)	
明石市	4,000円	238円	14校	48.3%(14校/29校)	
神戸市	3,900円	233円	24校	14.0%(24校/172校)	
稲美町	食数に応じる	250円	0校	0%(0校/5校)	
播磨町	4,250円	250円	0校	0%(0校/4校)	
加古川市	3,760円	230円	16校	55.2%(16校/29校)	
高砂市	3,900円	240円	8校	80.0%(8校/10校)	
姫路市	4,165円	245円	2校	2.9%(2校/70校)	
尼崎市	3,700円	226円	28校	63.6%(28校/44校)	
西宮市	3,995円	235円	0校	0%(0校/41校)	
宝塚市	3,600円	220円	0校	0%(0校/25校)	

# 事務事業詳細説明資料

No.	124	事務事業名	みんなで子どもの安全を守る運動事業		所管部課	教育委員会事務局青少年教育課	
<b>事業内容</b>							
地域ぐるみの子どもの安全対策を推進し、子どもたちにとって安全・安心な環境を確保する。							
<p>1 スクールガードあかし 各校区スクールガードによる校地内及び通学路等での子どもたちの見守り活動及びあいさつや声かけ運動を実施している。(登録者数は平成23年5月1日現在4,938人、平成24年5月1日現在5,174人、平成25年5月1日現在5,338人)(事業費3,020千円)</p> <p>2 おれんじキャップの配付 スクールガードをはじめ子どもたちの見守り活動を行っている方に配付している。子どもたちから一目で認知でき、安心感を与えるとともに、不審者への犯罪の抑止力にもなっている。(配付総数は平成23年6月1日現在12,530個、平成24年6月1日現在13,565個、平成25年6月1日現在14,450個)(事業費368千円)</p> <p>3 不審者情報メールの配信 学校園情報配信システムにより、不審者情報や学校園からの緊急連絡等を、希望する保護者の携帯電話へメール配信している。(登録者数は平成23年6月1日現在15,954人、平成24年6月1日現在15,666人、平成25年6月1日現在17,769人)(事業費1,233千円)</p> <p>4 防犯ブザーの配付 子どもの危険回避及び防犯意識の向上を図るため、全小学生(神大附属を含む)に防犯ブザーを配付している。(購入個数は平成23年度4,000個、平成24年度6,000個、平成25年度4,000個)(事業費750千円)</p> <p>5 こども110番の家 子どもたちの通学路上で困ったときの駆け込み場所として、個人や商店等に登録と看板の掲示をお願いしている。地区青少年愛護協議会に管理運営を委託している。(設置箇所は平成23年3月31日現在3,012箇所、平成24年3月31日現在3,090箇所、平成25年3月31日現在3,023箇所)(事業費720千円)</p> <p>6 防犯教室・防犯訓練の実施 児童や保護者、地域の方向けの防犯教室や、教職員対象の防犯訓練を行っている。(平成23年度48回、平成24年度42回、平成25年度3回《平成25年6月1日現在》)(事業費0千円)</p> <p>7 「子ども安全の日」運動 毎月15日を「子ども安全の日」と定め、学校と地域が連携して安全に関する取り組みとして、施設の安全点検、通学路の安全点検、登校指導、下校指導などを実施する。 ・平成23年度 「子ども安全の日」啓発イベント講演会実施、街頭啓発(ティッシュ配布等) ・平成24年度 地域安全マップ作成指導者養成講座(東部・西部)2回実施、啓発用のぼり設置 ・平成25年度 各校区における安全マップ作成の支援、学校園における安全点検及び登下校指導、防犯ブザー所持率の向上の推進を実施予定(事業費533千円)</p> <p>8 その他 「明石市子どもの安全を守る地域連絡会議」の開催(年2回)、「わんわんパトロール」エチケットバッグ、「こども110番」自転車巡回プレート、「安全・安心パトロール」ステッカーの配付。(事業費982千円)</p>							
<b>事業の対象</b>							
対象	小学校、中学校、養護学校、幼稚園の児童、生徒、園児			人数・数量等	26,764人 (平成25年5月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成16年度	法令による規定なし		明石市市民の安全の推進に関する条例				
<b>事業の変遷</b>							
平成 16 年度	防犯ブザーを全小学生へ配付						
平成 17 年度	おれんじキャップを配付						
平成 17 年度	スクールガードの組織が2校区で発足						
平成 18 年度	平成18年12月に全28小学校区でスクールガードの組織化が完了する。委託料は1校区当たり5万円						
平成 18 年度	学校園情報配信システム導入						
平成 19 年度	明石市子どもの安全を守る地域連絡会議を開催(年間2回)						
平成 20 年度	明石警察へこども110番の家登録情報を提供し連携を強化						
平成 22 年度	スクールガード委託料を1校区当たり5万円から10万円に増額						
平成 22 年度	学校警備員配置業務を学校安全管理事業へ移管						
平成 23 年度	毎月15日を「子ども安全の日」と定め、啓発イベント講演会を実施						
<b>経費の負担</b>							
100%市負担。利用者負担はなし							
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
財 源 内 訳	事業費	5,713	5,722	7,474	7,632	7,415	7,606
	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,713	5,722	7,474	7,632	7,415	7,606
スクールガードあかし		1,505	1,443	2,849	2,848	2,875	2,932
おれんじキャップ配付		231	231	231	304	250	368
不審者情報メール配信		1,890	1,623	1,623	1,623	1,232	1,233
防犯ブザー配付		1,140	702	735	735	842	750
こども110番の家		534	568	797	642	813	720
防犯教室・防犯訓練の実施		0	83	83	88	83	100
「子ども安全の日」運動		0	0	0	349	755	533
その他子どもの安全対策		413	1,072	1,156	1,043	565	970
事業費 備考		学校警備員配置事業について、H20、H21はみんなで子どもの安全を守る運動事業の1事業として実施していたため、H20、H21決算については、当該事業の経費を除いて記載					

事務事業詳細説明資料

No.	124	事務事業名	みんなで子どもの安全を守る運動事業		所管部課	教育委員会事務局青少年教育課			
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定	
スクールガード登録者数(4月1)	人		4,383	4,734	5,020	4,921	5,166	5,352	
おれんじキャップ配付総数(6月)	個		9,890	10,825	11,681	12,530	13,565	14,450	
不審者情報メールの登録件数	件		7,030	10,711	14,857	15,954	15,666	17,769	
不審者情報メールの配信件数	件		55	95	94	139	131	130	
防犯ブザー配付数	個		6,260	4,000	4,000	4,000	6,000	4,000	
こども110番の家協力者数	件		2,964	3,156	3,027	3,012	3,090	3,023	
防犯訓練・防犯教室の実施回	回		17	66	43	48	42	45	
他自治体との比較									
自治体名	小学校数及び児童数	地域ボランティア等	要素3		要素4		要素5		
明石市	小学校:28校 児童数:16,105人	小学校区ごとに組織されたスクールガードが登下校時の見守り活動及び校内の巡回などを実施							
神戸市	小学校:166校 児童数:78,203人	PTAや地域住民等で結成された「子ども見守り活動隊」が登下校時の見守りポイントでの立ち番、あいさつ及び校区内のパトロールを実施							
稲美町	小学校:5校 児童数:1,752人	小学校区ごとに組織されたスクールガードが登下校時の見守り活動及び校内の巡回などを実施							
播磨町	小学校:4校 児童数:1,967人	自治会や、防犯団体、シニアクラブ等による防犯パトロールなど、子ども見守り活動を実施							
加古川市	小学校:28校 児童数:15,629人	保護者による「子ども安全サポーター」が自宅周辺の通学路に立ち、また、地域の人による「見守り隊」が登下校の安全確保を実施							
高砂市	小学校:10校 児童数:5,329人	子どもたちの登下校の安全を守るため、青少年健全育成協議会や地域の団体と協力し、見守り活動を実施							
姫路市	小学校:69校 児童数:32,071人	小学校区ごとに組織されているスクールヘルパー制度による登下校の見守り、校内巡回、来校者の対応などを実施							

## 事務事業詳細説明資料

No.	125	事務事業名	学校安全管理事業		所管部課	教育委員会事務局青少年教育課		
<b>事業内容</b>								
・学校における児童の安全を確保するため、小学校、養護学校を対象に学校警備員を配置する。 ・全28小学校及び明石養護学校に警備員を2名配置(事業費117,214千円)								
<b>事業の対象</b>								
対象	小学校、養護学校、幼稚園の児童、園児				人数・数量等	18,512人 (平成25年5月1日 時点)		
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>			<b>根拠法令・要綱等</b>			
平成18年度		法令による努力義務			学校保健安全法第26条			
<b>事業の変遷</b>								
平成 18 年度	全28小学校及び明石養護学校に警備員を各2名配置							
平成 22 年度	みんなで子どもの安全を守る運動事業から移管							
平成 23 年度	長期継続契約(3年間)を締結 H23～H25							
<b>経費の負担</b>								
100%市負担。利用者負担はなし								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		<b>H20決算</b>	<b>H21決算</b>	<b>H22決算</b>	<b>H23決算</b>	<b>H24決算</b>	<b>H25当初予算</b>	
財 源 内 訳	<b>事業費</b>		149,381	147,632	147,899	116,628	117,314	117,214
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0	0
一般財源		149,381	147,632	147,899	116,628	117,314	117,214	
<b>事業費備考</b>		学校警備員配置事業について、H20、H21はみんなで子どもの安全を守る運動事業の1事業として実施していたため、H20、H21決算については、当該事業の経費を按分して記載						
<b>事業の実績の推移</b>		<b>単位</b>	<b>H20実績</b>	<b>H21実績</b>	<b>H22実績</b>	<b>H23実績</b>	<b>H24実績</b>	<b>H25予定</b>
学校園への不審者侵入による子どもへの被害件数		件	0	0	0	0	0	0
<b>他自治体との比較</b>								
<b>自治体名</b>	<b>学校園数</b>	<b>学校警備員配置の有無</b>	<b>警備員配置人数 (1校当たり)</b>		<b>警備員配置日</b>	<b>配置時間</b>		
明石市	小学校:28校 特別支援学校:1校 幼稚園:28園	有	2人		年間約200日授業日のみ配置(学校行事を休日に行った場合は配置し、代休日には配置しない。)	全校7:45～17:00		
神戸市	小学校:166校 特別支援学校:6校 幼稚園:43園	無	—		—	—		
稲美町	小学校:5校 幼稚園:5園	無	—		—	—		
播磨町	小学校:4校 幼稚園:3園	無	—		—	—		
加古川市	小学校:28校 特別支援学校:1校 幼稚園:20園	無	—		—	—		
高砂市	小学校:10校 幼稚園:10園	無	—		—	—		
姫路市	小学校:69校 特別支援学校:1校 幼稚園:46園	無	—		—	—		
尼崎市(県内)	小学校:43校 特別支援学校:1校 幼稚園:18園	有	1人		年間約200日授業日のみ配置(学校行事を休日に行った場合は配置し、代休日には配置しない。)	【平日】小学校 8:30～16:00 特別支援学校 8:30～15:50 【夏季休業期間】(運営委員会校23校)夏季(7/21～31, 8/20～31)の8:30～16:00		
西宮市(県内)	小学校:40校 特別支援学校:1校 幼稚園:21園	有	1人		年間約200日授業日のみ配置(学校行事を休日に行った場合は配置し、代休日には配置しない。)	全校7:45～12:30		

## 事務事業詳細説明資料

No.	127	事務事業名	子どもの読書活動推進事業	所管部課	教育委員会事務局青少年教育課		
<b>事業内容</b>							
<p>子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身につけることを目指し、ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、感性や創造力など内面の世界を豊かにする子どもの読書活動を一層推進する。</p> <p>1 「明石市第2次子どもの読書活動推進計画」(平成22年度改定)の推進          (1) 学校等における読書活動の充実          ・文部科学省の学校図書館図書標準の100%達成など「ほん だいすき!プラン事業」の成果を活かし、小・中・養護学校の蔵書冊数の維持、並びに内容の充実に努めるとともに、明石商業高等学校の蔵書の充実を図り、子どもの読書環境の向上を図る。…図書購入(27,000千円)、システム使用料(1,990千円)、目録データ代(900千円)          H25年度見込: 小学校:10,000冊(357冊/校)、中学校:7,500冊(577冊/校)、養護学校:50冊、明石商業高校:600冊          ・読書啓発のため、「明石市中学校推薦図書 ブックリスト100」(対象:新中学1年生)、「本 だいすき! (明石市小学校推薦図書・子どもブックリスト100)」(対象:新小学1年生)、「ほん だいすき! 乳幼児向けブックリスト60」(対象:乳幼児の保護者)の配布を継続する。…(729千円)          (2) 読書活動啓発行事等の開催          ・音読・朗読発表会の開催(音読・朗読することにより、言葉の持つ魅力や響き、美しさを再発見すると共に、読書への関心を高める。H21年度から実施)…(138千円)          ・ブックママ等ボランティアを対象とする研修会を開催しスキルアップを図る(H19年度から実施)。…(51千円)          (3) 子どもの読書活動推進計画啓発チラシ、ポスターの配布(H19年度から実施)          ・H25年度から廃止</p>							
<b>事業の対象</b>							
対象	市内に在住・在学のおおむね18歳までの子どもと子どもの読書活動を推進・支援する者			人数・数量等	0~18歳の市民52,890人と市外からの在学者 (平成25年4月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成19年度	法令による努力義務		子どもの読書活動の推進に関する法律第4条ほか 文字・活字文化振興法第5条ほか				
<b>事業の変遷</b>							
平成 19 年度	「子どもの読書活動推進事業」を開始。小・中・養護学校及び明商、幼稚園の図書購入予算は教育総務課(現学校管理課財務係)で管理。						
平成 21 年度	引き続き「子どもの読書活動推進事業」を実施するとともに、平成23年度までの重点事業として「ほん だいすきプラン事業」を開始。小・中・養護学校及び明商、幼稚園の図書購入予算を青少年教育課へ移管。						
平成 24 年度	「子どもの読書活動推進事業」において、「ほん だいすきプラン事業」の成果を活かした取組を実施。						
平成 25 年度	幼稚園の図書購入予算については、こども育成室へ移管。						
事業の変遷 備考	学校図書館の充実(蔵書購入、蔵書システム使用料等)や啓発イベントの実施については、H21~23年度は「ほん だいすきプラン事業」において実施。						
<b>経費の負担</b>							
H23年度ほん だいすきプラン事業費のうち37,358千円は国支出金							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
財 源 内 訳	事業費	206	240	425	198	32,781	31,263
	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	3
	一般財源	206	240	425	198	32,781	31,263
	読書活動研修会	58	70	288	60	0	0
	啓発イベント実施	0	0	0	0	86	189
	学校図書館充実(蔵書購入、蔵書シ	0	0	0	0	32,537	31,022
	その他	148	170	137	138	158	52
(ほん だいすきプラン)		0	(83,459)	(89,470)	(95,757)	0	0
(啓発イベント実施)		0	(465)	(4,498)	(96)	0	0
(学校図書館充実(蔵書購入、蔵書シ		0	(82,988)	(84,957)	(95,661)	0	0
(その他)		0	(6)	(15)		0	0

### 事務事業詳細説明資料

No.	127	事務事業名	子どもの読書活動推進事業			所管部課	教育委員会事務局青少年教育課	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
学校図書館蔵書冊数(小学校)	冊		216,121	239,762	274,301	310,377	314,064	315,000
学校図書館蔵書冊数(中学校)	冊		136,472	147,631	169,402	190,940	191,106	191,000
学校図書館蔵書購入冊数(小学校)	冊		9,850	22,369	31,262	33,215	8,248	10,000
学校図書館蔵書購入冊数(中学校)	冊		6,901	12,304	22,270	25,073	8,499	7,500
児童1人あたりの貸出冊数(小学校)	冊		未集計	18.6	20.7	22.8	23.8	—
生徒1人あたりの貸出冊数(中学校)	冊		未集計	未集計	3.1	3.6	4.0	—
音読・朗読発表会参加者数	人		未実施	140	231	240	280	—
読書ボランティア研修会参加者数	人		25	14	29	29	32	—
他自治体との比較								
自治体名	「子どもの読書活動推進計画」策定の有無 (策定年月日/改訂年月日)	「学校図書館図書標準」冊数を達成している学校の割合(小学校)(%)	「学校図書館図書標準」冊数を達成している学校の割合(中学校)(%)	児童1人あたりの図書購入予算額(小学校)(円)	生徒1人あたりの図書購入予算額(中学校)(円)			
明石市	有(H18.8/H23.2)	100	100	869	1,430			
神戸市	有(H16.6/H23.3)	66.3	64.6	1,253	2,329			
稲美町	無	0	0	1,501	2,797			
播磨町	検討中	0	0	1,027	1,168			
加古川市	有(H22.5)	7.1	0	706	990			
高砂市	無	0	0	1,321	814			
姫路市	有(H16.6/H22.10)	23.2	25.7	1,461	2,515			
西宮市(県内)	有(H20.4/H25.7)	97.5	90.0	883	883			
宝塚市(県内)	有(H20.3/H25.4)	95.8	66.7	628	717			

# 事務事業詳細説明資料

No.	129	事務事業名	青少年活動促進事業		所管部課	教育委員会事務局青少年教育課		
<b>事業内容</b>								
青少年の健全育成を図るため、青少年、青少年活動団体及びその指導者を対象に活動啓発、人材育成及び支援を行う。 ・明石青少年連絡協議会に委託し、勤労青少年活動育成対策事業を実施(225千円) 市内在住・在勤の勤労青年を中心とした青年活動の啓発・啓蒙ならびにサークル・グループ等の団体活動を助長し活性化を図ることを目的とした、勤労青年団体の活動促進・団体相互の連絡調整及び交流・団体指導者の研修に関する事業 ・明石レクリエーション協会に委託し、青少年の集い事業を実施(140千円) 市内に在住する青少年の交流・余暇の善用・仲間づくりの促進を目的とする健全なレクリエーション活動の集い事業 ・ボーイスカウト等の活動を行っている明石スカウト本部の活動への助成(160千円) スカウト活動を通じた少年の健全育成の推進ならびに少年団体活動の支援・育成事業								
<b>事業の対象</b>								
対象	青少年、青少年活動団体及びその指導者等				人数・数量等	6団体 (平成25年4月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
不明	法令による義務付け (手法や事業費の見直し余地あり)			社会教育法(第5条第1項第14号)・兵庫県青少年愛護条例(第4条・第8条)				
<b>事業の変遷</b>								
平成 22 年度	市内のスカウト活動団体の減(5団→4団)							
平成 24 年度	新明石村教育キャンプ場閉鎖(12月31日)							
<b>経費の負担</b>								
国・県の補助事業ではない。団体への委託料については市負担だが、補助金については助成金のため負担割合を定めていない。								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	493	493	493	493	630	525	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	493	493	493	493	630	525	
勤労青少年活動対策事業委託料		225	225	225	225	225	225	
青少年の集い事業委託料		108	108	108	108	245	140	
スカウト活動補助金		160	160	160	160	160	160	
<b>事業費 備考</b>		青少年の集い事業委託料 ・H24 委託料増額 108,000円→245,000円 キャンプ場整備及びキャンプ指導に係る経費の事業組替えによる増額 ・H25 委託料減額 245,000円→140,000円 H24.12.31日付け新明石村教育キャンプ場閉鎖に伴うキャンプ場整備に係る委託料の減額						
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
勤労青少年活動対策事業委託		団体数	1	1	1	1	1	1
青少年の集い事業委託料		団体数	1	1	1	1	1	1
スカウト活動補助金		団体数	5	5	4	4	4	4
青少年の集い事業数		回	5	8	11	5	5	6
青少年の集い事業参加者数		人	184	199	188	143	47	100
<b>事業の実績 備考</b>		スカウト活動補助金については、補助金交付対象である明石スカウト本部を通じ市内各スカウト団体(ボーイスカウト・ガールスカウト各2団)へ分配されている。						

事務事業詳細説明資料

No.	129	事務事業名	青少年活動促進事業	所管部課	教育委員会事務局青少年教育課
他自治体との比較					
自治体名	青少年健全育成団体補助 (青少年団体の活動啓発・支援等)		青少年健全育成事業委託 (青少年の交流・レクリエーション活動等)		スカウト活動補助 (ボーイ・ガールスカウト)
明石市	なし	なし	①勤労青少年活動育成 対策事業 委託先:明石青少年連 絡協議会 委託料:225千円	②青少年の集い事業 委託先:明石レクリエー ション協会 委託料:140千円	①明石スカウト活動事 業 補助対象:明石スカウト 本部(スカウト4団へ分 配) 補助額:160千円(1団 あたり40千円)
神戸市	①青少年育成事業 補助対象:(財)神戸市 野外活動協会 補助額:1,200千円  ②青少年育成協議会活 動補助 補助対象:青少年育成 協議会(154支部) 補助額:25,000千円	③居場所づくり事業 補助対象:青少年育成 団体活動補助(約30団 体) 補助額:予算額5,400千 円 活動内容により1団体最 高200千円	なし	なし	①スカウトが加盟する 上部2団体へ補助 補助額:170千円
稲美町	なし	なし	なし	なし	なし
播磨町	なし	なし	なし	なし	①ガールスカウト(1団) 補助額:30千円 ※ボーイは活動休止 により補助なし
加古川市	なし	なし	①青少年健全育成事業 委託 委託先:少年団体連絡 協議会(スカウト団が加 盟) 委託料:480千円	②青少年育成連絡協議 会活動事業委託 委託先:青少年育成連 絡協議会 委託料:1,400千円(全 市事業200千円+100千 円×12中学校区)	なし
高砂市	なし	なし	①青少年健全育成事業 委託(まつり等・見守り 活動を含む) 委託先:青少年健全育 成連絡協議会 委託料:2,600千円(10 小学校区×260千円)	なし	①ボーイスカウト(1団) 補助額:35千円  ②ガール(1団) 補助額:35千円
姫路市	なし	なし	なし	なし	①スカウト(16団) 補助額:850千円
尼崎市(県内)	①国際大会参加事業補 助 補助対象:スポーツ少年 団・ボーイスカウト・ガ ール スカウト 補助額:200千円  ③スポーツ少年団運営 費補助 補助額:1,033千円	③他都市交換事業補助 ・ボーイスカウト 11団 452千円 ・ガールスカウト 3団 231千円	なし	なし	なし
芦屋市(県内)	なし	なし	なし	なし	なし
伊丹市(県内)	なし	なし	親子劇場活動事業 委託料:90千円	なし	①ボーイスカウト(6団) 補助額:146千円  ②ガール(2団) 補助額:81千円
宝塚市(県内)	なし	なし	なし	なし	なし
小野市(県内)	なし	なし	なし	なし	なし
三田市(県内)	なし	なし	なし	なし	なし
吹田市(特例市)	なし	なし	①青少年指導委員会活 動事業(音楽イベント等) 補助対象:青少年補導 委員会 補助額:500千円	なし	なし
春日部市(特例市)	なし	なし	なし	なし	①ボーイスカウト(4団) 補助額:631千円  ②ガール(2団) 補助額:398千円

# 事務事業詳細説明資料

No.	131	事務事業名	社会体育一般事務事業	所管部課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
<b>事業内容</b>								
すべての市民が、健康で明るく豊かな社会生活を営むために、スポーツに親しむとともに、競技力の向上にも結びついていくよう幅広くスポーツ施策を推進する。								
1 明石市総合体育大会・スポーツ大会の開催 明石市体育協会に委託し、明石市総合体育大会をはじめとする各種の大会を開催する。 2 スポーツ教室の開催 明石市体育協会に委託し、市民向けのスポーツ教室をコミセンなどで開催する。 3 スポーツ指導者養成研修会・講習会の開催 明石市体育協会に委託し、各種目別の研修会や講習会を開催する。 上記1～3(3,780千円) 4 明石市スポーツ指導者研修会の開催 明石市体育協会と連携し、同協会の指導員をはじめ、市内の様々な分野の指導者を対象に研修会を行う。 (130千円) 5 明石市スポーツ賞表彰式の開催 本市のスポーツの振興に功績のあった方や優秀な成績を収めた選手等を表彰する。 (649千円) 6 明石市小学生駅伝大会の開催 各小学校で編成されたチーム対抗による駅伝大会を開催。同日、駅伝チーム以外のメンバーによるタイムトライアルも併せて開催する。 (50千円) 7 その他事業に伴う経費 (950千円)								
<b>事業の対象</b>								
対象	市民			人数・数量等	290,976 (平成25年9月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
不明	法令による努力義務		スポーツ基本法第4条 スポーツ基本計画					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 27 年度	明石市教育委員会発足							
昭和 29 年度	明石市体育連盟が明石市体育協会に改称							
昭和 30 年度	明石公園において全日本総合ハンドボール大会が開催された。							
昭和 31 年度	第11回国民体育大会が開催。本市は準硬式野球、自転車競技、バレーボール、軟式庭球の会場となった。							
昭和 37 年度	明石市スポーツ賞表彰を開催							
昭和 54 年度	明石市スポーツ指導者研修会を開催							
昭和 63 年度	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を開催							
平成 4 年度	オリンピックパルセロナ大会女子マラソンに小嶋由水選手が出場。明石後援会が発足。同大会には西正文選手も出場。							
平成 18 年度	第61回国民体育大会が開催。本市は自転車競技、バレーボール、ウエイトリフティングの会場となった。							
平成 24 年度	文化・スポーツ部スポーツ振興課が設置される。							
事業の変遷 備考	国民体育大会・インターハイについては実行委員会							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	4,810	5,020	5,214	5,273	5,225	5,559	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
一般財源		4,810	5,020	5,214	5,273	5,225	5,559	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
体育協会加盟団体が開催する各種大会の参加者		人	不明	38,389	39,653	40,015	42,394	43,000
体育協会加盟団体によるスポーツ教室開催数		教室	41	41	43	43	43	42
体育協会加盟団体による種目別指導者養成講習会・研修会参加者		人	1,297	1,401	1,400	1,410	1,010	1,100
スポーツ指導者研修会の開催		回	1	1	1	1	1	1
スポーツ賞被表彰者数		人	143	128	127	191	199	180
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	体育協会等への補助・助成	スポーツ賞表彰等の開催	スポーツ指導者研修会等の開催	要素4	要素5			
明石市	有	有	有					
神戸市	有	有	有					
稲美町	有	有	無					
播磨町	有	有	無					
加古川市	有	有	無					
高砂市	有	有	無					
姫路市	有	有	有					
宝塚市	有	有	有					
西宮市	有	有	有					
尼崎市	有	有	有					

# 事務事業詳細説明資料

No.	132	事務事業名	生涯スポーツ推進事業	所管部課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
<b>事業内容</b>								
自らの健康・体力の維持増進図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、生涯スポーツの推進を図る。特に子ども向けの体力向上・競技力向上のイベントを開催する。								
1 明石市民ショートテニス大会の開催 明石市スポーツ推進委員会と連携し、ニュースポーツのひとつであるショートテニスの全市大会を開催する。同競技はスポーツ推進委員が普及に力を注いでいるものである。 (140千円)								
2 ウオーキングの開催 明石市ウオーキング協会と連携し、月1回のウオーキングを開催する。 (100千円)								
3 兵庫県ジュニア自転車競技教室等の開催 NPO法人への委託事業として実施。学童期から自転車競技への興味を持ってもらうとともに、正しい自転車の乗り方や態度を学ぶ。 (800千円)								
4 明石市家庭バレーボール大会の開催 (340千円)								
5 地域スポーツ教室等支援事業 SC21等地域で行われるスポーツ教室等を支援する。 (980千円)								
5 全国的規模の大会の誘致 関西大学ビーチバレー男女選手権大会の開催を支援する。 (150千円)								
6 明石市スポーツフェスティバルの開催 子どもが体を動かすことの楽しさや喜びを知ってもらうために豊富な競技経験や指導経験を持つアスリートとの交流を通じて、様々なスポーツを楽しんでもらう。 (2,950千円)								
7 明石市文化・スポーツ振興激励金の支出 全国大会等に出場する選手に対し、本市からの激励金を支給する。 (6,000千円)								
8 その他事業に伴う経費 (420千円)								
<b>事業の対象</b>								
<b>対象</b>		市民		人数・数量等 290,976 (平成25年9月1日 時点)				
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>		<b>根拠法令・要綱等</b>				
不明		法令による努力義務		スポーツ基本法第4条 スポーツ基本計画				
<b>事業の変遷</b>								
ここまでは、社会体育一般事務事業と同じ								
昭和	44	年度	市教委主催の市民向けスポーツ教室が開催される。					
昭和	45	年度	明石市家庭バレーボール連盟が発足。					
昭和	47	年度	コミセン設置が開始。各コミセンにおいて市民向けスポーツ教室が開催される。					
昭和	60	年度	文部省において「地方生涯スポーツ振興事業補助金」制度が開始される。本市においても同補助金を活用して市民向けスポーツ教室の充実を図った。					
平成	3	年度	兵庫明石バイコロジー運動をすすめる会が発足。					
平成	11	年度	明石市歩け歩け協会(現:明石市ウオーキング協会)が発足。					
平成	12	年度	スポーツクラブ21ひょうご事業に着手					
平成	17	年度	養父市との交流事業が開始される。					
平成	22	年度	明石市スポーツ振興計画を策定					
平成	23	年度	明石市スポーツ振興計画行動プログラムを策定					
平成	24	年度	文化・スポーツ部スポーツ振興課が設置される。					
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>								
		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費		2,156	10,846	12,394	10,417	8,138	11,880
	国支出金		0	1,995	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0	40
一般財源		2,156	8,851	12,394	10,417	8,138	11,840	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	スポーツ振興計画等基本計画の策定	要素2	要素3	要素4	要素5			
明石市	有							
神戸市	有							
稲美町	無							
播磨町	有							
加古川市	有							
高砂市	策定中							
姫路市	無							
宝塚市	有							
西宮市	策定中							
尼崎市	有							

# 事務事業詳細説明資料

No.	133	事務事業名	広域連携スポーツ振興事業		所管部課	文化・スポーツ部スポーツ振興課		
<b>事業内容</b>								
野球・サッカー等のイベントを通じて市民、とくに子どもたちにスポーツの素晴らしさを実感してもらうことにより、スポーツをする人の底辺の拡大を図るとともに健全育成を推進する。								
1 ヴィッセル神戸との連携 ヴィッセル神戸と連携し以下の事業を行う。 ①小学校訪問 「夢であえたら」の名称で小学校に選手が訪れる。 ②少年サッカークリニック サッカースクールコーチによる少年選手への指導 ③小学校巡回指導 体育の授業時間を利用してスクールコーチが小学生にサッカーを通じた体力づくりを指導 ④親子サッカー教室 (1, 200千円) 2 「集まれ！野球っ子」の開催 プロ野球OB選手を招いての少年野球教室 (840千円) 3 企業グラウンドの貸出し (135千円) 4 明石市スポーツ振興基金の積立 (10, 100千円)								
<b>事業の対象</b>								
対象		市民			人数・数量等	290,976 (平成25年9月1日 時点)		
事業開始年度		市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成16年度		法令による努力義務		スポーツ基本法第4条 スポーツ基本計画				
<b>事業の変遷</b>								
平成 16 年度	同事業が開始。							
平成 20 年度	「集まれ！野球っ子」を開催							
平成 21 年度	JTグラウンドの使用試行開始							
平成 21 年度	ドリームベースボールの開催							
平成 22 年度	JTと覚書を交わし、グラウンドの使用を開始							
平成 24 年度	明石市スポーツ振興基金の積立を開始							
平成 24 年度	ヴィッセル神戸への委託料の一部削減							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費		2,817	9,339	2,395	2,501	12,400	12,275
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源 一般財源		0 2,817	0 9,339	0 2,395	0 2,501	0 12,400	100 12,175
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
ヴィッセル神戸特別観戦会		人	1,200	1,000	600	600	600	0
ヴィッセル神戸福祉シート		席	10	0	0	0	0	0
少年サッカークリニック		回	2	2	2	2	2	2
小学校巡回指導		校	3	3	3	3	3	3
親子サッカー教室		回	1	1	1	1	1	1
小学校訪問「夢であえたら」		校	1	1	1	1	1	1
集まれ！野球っ子の開催		回	1	1	1	1	1	1
JTグラウンドの使用チーム		チーム	0	0	6	6	6	7
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	スポーツに関する基金の設置	要素2	要素3	要素4	要素5			
明石市	有							
神戸市	無							
稲美町	無							
播磨町	無							
加古川市	無							
高砂市	無							
姫路市	無							

事務事業詳細説明資料

No.	135	事務事業名	少年クラブ育成事業	所管部課	教育委員会事務局学校教育課			
<b>事業内容</b>								
スポーツ・文化活動を通じて、各中学校区の少年クラブ活動の育成を図り、青少年の心身ともに健全な成長を促す。								
<p>当該事業の目的に沿って、中学校及び校区内各種団体と連携しながら、スポーツ及び文化クラブの振興を図る。(委託先:各校区クラブ振興会)</p> <p>※クラブ振興会とは、教職員・保護者・卒業生の保護者で組織され、運動・文化クラブの振興を助成するとともに、校区におけるスポーツ並びに文化の発展に寄与することを目的とした団体である。そのために、体育・文化振興の基本方針の審議をしたり、施設及び用具に対する企画検討を行ったり、対外派遣に対する援助を行う。また、部活動が教育的配慮のもとで、効果的な活動ができるよう、指導者会議やキャプテン会議を開く。</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	各中学校区の少年クラブ振興会が認めるスポーツ及び文化クラブ			人数・数量等	8,100人 (平成25年6月 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
不明	法令による努力義務		スポーツ基本法第4条					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 47 年度	錦城中学校区・朝霧中学校区のクラブ振興会が発足。委託事業を開始する。							
昭和 62 年度	大久保北中学校区にクラブ振興会が発足。市内全13校区で委託が始まる。							
<b>経費の負担</b>								
委託費900万円のうち、40%に当たる3,588,000円を13のクラブ振興会で均等に割りあてる。一校当たり276,000円。残りの60%に当たる5,412,000円を生徒数全体比で振り分ける。								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	8,837	9,094	9,084	9,078	9,088	9,123	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源 一般財源	8,837	9,094	9,084	9,078	9,088	9,123	
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
生徒数	人	8100人	8270人	8326人	8371人	8311人	8,100	
入部率	%	87%	87%	88%	89%	90%	90%	
近畿への参加(激励会時)	人	68	79	93	136	101	87	
全国大会への参加(激励会時)	人	22	23	30	23	28	15	
委託先クラブ振興会(総数13)	会	13	13	13	13	13	13	
クラブ指導者の数(教員)	人	423	441	443	438	438	436	
外部指導者の数	人	45	45	50	43	38	35	
<b>事業の実績 備考</b>		13校すべてのクラブ振興会に委託することができている。今後生徒数の減少に伴い、指導教員の数が減ることが考えられる。						
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	規模	生徒数	名称	補助	金額			
明石市	13校	8100人	明石市中学校区少年クラブ育成事業	外部指導者旅費・消耗品費・運営費補助他	900万円			
神戸市	84校	37000人	A中学校外部指導費 B部活動運営費	A外部指導者報酬 B部活運営費	3100万円 750万円			
稲美町	2校	900人	A部活動専門指導費 B行事参加補助金	A外部指導者報酬・旅費 B大会参加費	54万円 150万円			
播磨町	2校	1000人	対外試合選手派遣費	選手旅費・宿泊費等	95万円			
加古川市	12校	8200人	文化体育活動推進事業	A外部指導者報酬 B大会参加費補助	A約100万円 B640万円			
高砂市	6校	2800人	A外部指導員委託 B大会派遣費 C大会参加費	A外部指導者旅費 B大会派遣費補助 C大会参加費	100万円 650万円 100万円			
姫路市	35校	16000人	A中学校時間講師(部活動) B学校教育推進事業 (選手強化事業等)	A外部指導者報酬 1500円/時間 8h/wまで B選手強化・総体開催・部活振興事業など	A2166万円 B約4250万円			
尼崎	19校	10100人	尼崎市立学校課外クラブ活動委託事業	外部指導者旅費・合宿費・運営費他	1000万円			
伊丹	8校	5000人	学校クラブ活動推進委託	外部指導者旅費・保険料・助成金他	392万円			
西宮	20校	9900人	部活動推進事業委託	外部指導者旅費他	1000万円			
芦屋	3校	1300人	部活動運営委託	外部指導者旅費・消耗品費・大会参加費他	312万円			
<b>他自治体比較 備考</b>		近隣他市町では外部指導者に報酬を出したり、生徒に県大会等出場における旅費や宿泊費を出すところが多い。それにより、多く選手を派遣する学校で使われるお金が多かったり、たくさん選手が出場したり遠くでの大会開催の場合は大きな支出になる。しかし、明石の委託事業ではクラブ振興会の中で処理されるので、公平であり支出も抑えられる。						

事務事業詳細説明資料

No.	136	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業	所管部課	文化・スポーツ部文化振興課		
<b>事業内容</b>							
・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円) ・明石文化芸術創生会議の開催 ・実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 ・基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。							
<参考:他の文化芸術関連事業> ・芸術祭等開催事業(7,263千円) ・文芸祭開催事業(1,940千円) ・街角イベント推進事業(820千円) ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円) ・市民交響楽団支援事業(3,000千円) ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円) ・中崎寄席開催事業(870千円) ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)							
<b>事業の対象</b>							
対象	市民			人数・数量等	290,946人 (平成25年8月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成19年度	法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第6条、第7条、第8条、第9条、第10条				
<b>事業の変遷</b>							
平成 19 年度	(仮称)文化芸術振興基本条例の策定に向けて、検討委員会(委員長:端信行氏)を設置。神戸大学大学院国際文化学研究科の藤野一夫教授との共同研究がスタート。						
平成 20 年度	明石文化芸術創生条例を制定。(県内自治体初)						
平成 21 年度	常設の第三者機関として明石文化芸術創生会議を設置。文化芸術の振興に関する基本計画(案)の策定に向けて検討を開始。						
平成 22 年度	明石文化芸術創生基本計画を策定。基本計画に基づき、年度ごとの実施計画(アクションプラン)についても定める。						
平成 23 年度	基本計画・実施計画(アクションプラン)に基づく事業展開を推進。明石文化芸術創生会議にて、事業の進捗状況を管理する体制を整える。						
平成 24 年度	明石文化芸術創生会議の提言を受け、基本計画・実施計画(アクションプラン)に基づく事業として、学校園へのアーティスト派遣、アートフルウィークを実施。						
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
財源内訳	事業費	1,653	1,915	2,371	1,369	1,791	3,484
	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,653	1,915	2,371	1,369	1,791	3,484
明石文化芸術創生会議		1,653	1,915	2,371	1,369	124	684
学校園へのアーティスト派遣		-	-	-	-	533	800
アートフルウィーク		-	-	-	-	1,134	2,000
事業の実績の推移	単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
明石文化芸術創生会議		明石文化芸術創生条例制定(県内初)		明石文化芸術創生基本計画策定	基本計画・実施計画に基づく事業実施	基本計画・実施計画に基づく事業実施	基本計画・実施計画に基づく事業実施
学校園へのアーティスト派遣		-	-	-	-	15校へ派遣	24校へ派遣(予定)
アートフルウィーク		-	-	-	-	10/6~10/8に開催 来場者:延1500名	3/21~3/23に開催(予定) 開催場所:生涯学習センター
<b>他自治体との比較</b>							
自治体名	条例策定の有無	審議会設置の有無	基本計画策定の有無	要素4		要素5	
明石市	有	有	有 明石文化芸術創生基本計画				
神戸市	無	無	有 神戸文化創生都市推進プログラム				
稲美町	無	無	無				
播磨町	無	無	無				
加古川市	無	無	無				
高砂市	有	有	有 高砂市文化振興基本方針				
姫路市	無	無	無				

事務事業詳細説明資料

No.	137	事務事業名	芸術祭等開催事業	所管部課	文化・スポーツ部文化振興課			
<b>事業内容</b>								
<p>・芸術祭等開催事業(7,263千円)          &lt;平成25年度&gt;          ①市芸術祭 ・吹奏楽のタベ・・・ 8月25日(日)市民会館大ホール          ・邦舞邦楽のつどい・・・10月20日(日)生涯学習センター子午線ホール          ・明石ステージアート2013・・・10月27日(日)市民会館大ホール          ・音楽のつどい・・・ 11月2日(土)市民会館大ホール          ・茶会・・・ 11月4日(日)生涯学習センター(親子茶道体験も開催)          ・いけばな展・・・ 11月8日(金)～10日(日)生涯学習          ・美術展・・・ 前期:11月120日(水)～24日、後期:11月27日(水)～12月1日(日)文化博物館で開催。          ②明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展。3月12日(水)～16日文化博物館で開催。</p> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;          ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)          ・文芸祭開催事業(1,940千円)          ・街角イベント推進事業(820千円)          ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)          ・市民交響楽団支援事業(3,000千円)          ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)          ・中崎寄席開催事業(870千円)          ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p>								
対象	市民・県民			人数・数量等	5,559,086人 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和46年度	法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 46 年度	明石芸術祭実行委員会結成							
昭和 47 年度	明石っ子芸能カーニバル・合唱・民謡 を実施。これ以後毎年10月～11月にかけて、芸術祭を開催。							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	6,432	5,700	6,600	7,263	7,263	7,263	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	235	226	213	200	194	200	
一般財源		6,197	5,474	6,387	7,063	7,069	7,063	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
吹奏楽のタベ(入場者数) (～22年度まで吹奏楽祭)		人	3,500	3,500	3,223	4,500	3,000	0
邦舞邦楽のつどい(〃)		人	700	500	600	400	290	290
音楽のつどい(〃)		人	1,000	1,100	1,100	1,000	1,000	1,000
明石ステージアート(〃)		人	1,400	1,000	2,000	1,100	1,000	1,000
茶会(〃)		人	200	200	実施なし	178	217	220
いけばな展(〃)		人	2,770	1,463	1,772	1,535	1,541	1,550
美術展(〃)		人	2,700	2,365	2,282	2,730	4,406	4,410
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	事業名	開催時期	要素3	要素4	要素5			
明石市	明石市芸術祭	10月～11月						
神戸市	垂水区総合文化祭	11月						
稲美町	芸能フェスティバル	9月						
播磨町	町民文化祭	11月						
加古川市	加古川市文化まつり	7月～3月						
高砂市	文化まつり	4月～11月						
姫路市	姫路市民文化祭	11月						

# 事務事業詳細説明資料

No.	138	事務事業名	文芸祭開催事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課		
<b>事業内容</b>								
<p>・文芸祭開催事業(1,940千円)          &lt;平成25年度&gt;          例年の自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学)に加え、今年度は第40回を記念し「わがふるさと」をテーマにした作品を募集し、優秀作品を賞するとともに作品集、表彰式のさらなる充実を図る。</p> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;          ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)          ・芸術祭等開催事業(7,263千円)          ・街角イベント推進事業(820千円)          ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)          ・市民交響楽団支援事業(3,000千円)          ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)          ・中崎寄席開催事業(870千円)          ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象		市民・県民・県外			人数・数量等		( ) 時点	
事業開始年度		市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
昭和49年度		法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条				
<b>事業の変遷</b>								
昭和 49 年度	明石市立図書館及び中央公民館の開館記念行事として第1回を開催。部門は俳句・川柳・短歌の3部門。							
昭和 53 年度	小説部門加わる。(第5回開催)							
昭和 54 年度	詩・随筆部門加わる。(第6回開催)							
昭和 59 年度	児童文学部門が加わり、7部門で実施。今日に至る。							
平成 15 年度	ジュニア部門創設。							
平成 20 年度	源氏物語千年紀記念として、例年の自由題に加え“源氏物語千年紀特別賞”を設け実施。							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費		1,634	1,630	1,707	1,920	1,920	1,940
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源		470	441	462	469	457	420
一般財源		1,164	1,189	1,245	1,451	1,463	1,520	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
応募人数(一般)		人	430	441	434	439	442	406
応募人数(ジュニア)		人	2,506	1,639	2,620	3,832	3,160	3,900
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	事業名	内容	参加費	ジュニアの部		要素5		
明石市	明石市文芸祭	俳句・川柳・短歌・詩・随筆・小説・児童文学	1,000円 (中学生以下無料)	有(中学生以下)				
神戸市	平成万葉集 (垂水区民総合文化祭)	短歌・俳句・川柳	無料	有(中学生以下)				
稲美町	なし	なし	なし	なし				
播磨町	なし	なし	なし	なし				
加古川市	川柳大会 (加古川市文化まつり)	川柳	1,500円	応募可能				
高砂市	なし	なし	なし	なし				
姫路市	なし	なし	なし	なし				
加西市(県内)	文芸祭	俳句・川柳・短歌	無料	なし				
西脇市(県内)	文芸まつり	俳句・川柳・短歌・随筆	無料	なし				
尼崎市(県内)	尼崎市文芸祭	俳句・川柳・短歌	無料	なし				

## 事務事業詳細説明資料

No.	139	事務事業名	街角イベント推進事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課	
<b>事業内容</b>							
<p>・街角イベント推進事業(820千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催。 地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録制度」に登録した者を紹介。</li> <li>①あかしふれあいコンサート 毎月1回、アスパア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場、イトーヨーカドー等で開催。</li> <li>②地域や福祉施設、病院等へまちかどミュージシャンを紹介・派遣。</li> </ul> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)</li> <li>・芸術祭等開催事業(7,263千円)</li> <li>・文芸祭開催事業(1,940千円)</li> <li>・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)</li> <li>・市民交響楽団支援事業(3,000千円)</li> <li>・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)</li> <li>・中崎寄席開催事業(870千円)</li> <li>・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</li> </ul>							
<b>事業の対象</b>							
対象	市民			人数・数量等	290,946人 (平成25年8月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成15年度	法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条				
<b>事業の変遷</b>							
平成 15 年度	平成15年度職員提案による「街角イベント」先行事業として、明石駅共用コンコースにて吹奏楽コンサートを開催						
平成 16 年度	(財)コミュニティ創造協会への委託により事業開始						
平成 24 年度	(財)コミュニティ創造協会が(公財)明石文化芸術創生財団と(一財)コミュニティ創造協会に分割。文化芸術分野を引き継いだ(公財)明石文化芸術創生財団への委託により事業実施。						
平成 25 年度	「Taco Taco Jazz Festival」と「明石音楽祭」の実行委員会による自主運営化(事務局:明石文化芸術創生財団)						
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>							
財 源 内 訳	事業費	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
	国支出金	1,518	1,940	1,924	2,000	2,000	820
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,518	1,940	1,924	2,000	2,000	820
<b>他自治体との比較</b>							
自治体名	街角イベント	要素2	要素3	要素4	要素5		
明石市	あかしふれあいコンサート						
神戸市	「まちのアートステージ事業」 日常的に市民や観光客がジャズやフルートに触れる環境づくりを進める。						
稲美町	-						
播磨町	-						
加古川市	ロビーコンサートの開催						
高砂市	-						
姫路市	ロビーコンサートの開催						

事務事業詳細説明資料

No.	140	事務事業名	財団支援事業	所管部課	文化・スポーツ部文化振興課			
<b>事業内容</b>								
文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。								
<平成24年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。								
<平成25年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石文化芸術創生財団			人数・数量等	1団体 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
平成24年度	法令による規定なし							
<b>事業の変遷</b>								
平成 24 年度	(公財)明石文化芸術創生財団の創設							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	0	0	0	0	15,210	16,460	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	15,210	16,460	
財団総事業費		-	-	-	-	33,307	33,775	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
人件費補助	千円	-	-	-	-	13,450	13,450	
物件費	千円	-	-	-	-	1,760	1,760	
委託料等	千円	-	-	-	-	0	1,250	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	文化財団	自治体からの補助金	要素3	要素4	要素5			
明石市	(公財)明石文化芸術創生財団	有						
神戸市	(公財)神戸市民文化振興財団	有						
稲美町	-	-						
播磨町	-	-						
加古川市	(公財)加古川市ウェルネス協会	有						
高砂市	-	-						
姫路市	(公財)姫路市文化国際交流財団	有						

事務事業詳細説明資料

No.	141	事務事業名	文化芸術子どもクラブ開催事業	所管部課	文化・スポーツ部文化振興課			
<b>事業内容</b>								
・文化芸術子どもクラブ開催事業(2,048千円) ・音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、助成を行う。								
<参考:他の文化芸術関連事業> ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円) ・芸術祭等開催事業(7,263千円) ・文芸祭開催事業(1,940千円) ・街角イベント推進事業(820千円) ・市民交響楽団支援事業(3,000千円) ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円) ・中崎寄席開催事業(870千円) ・子ども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)								
<b>事業の対象</b>								
対象	子ども			人数・数量等	( ) 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
平成22年度	法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条					
<b>事業の変遷</b>								
平成 22 年度	事業開始							
平成 23 年度	助成対象経費から、団体の講師に対する謝金を除外							
平成 25 年度	助成上限額を変更(50万円→40万円)							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	0	0	1,968	538	959	2,048	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	1,968	538	959	2,048	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
事業実施団体数	団体		-	-	7	3	6	4
参加者数	人		-	-	176	57	140	90
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	事業の実施	要素2	要素3	要素4	要素5			
明石市	あり							
神戸市	なし							
稲美町	なし							
播磨町	なし							
加古川市	なし							
高砂市	なし							
姫路市	なし							

## 事務事業詳細説明資料

No.	142	事務事業名	市民交響楽団支援事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課		
<b>事業内容</b>								
<p>・市民交響楽団支援事業(3,000千円)          &lt;平成25年度&gt;          7月7日(日)第6回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。          9月15日(日)第14回定期演奏会市民会館大ホールで開催。          2月2日(日)第7回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催予定。          3月16日(日)第15回定期演奏会市民会館大ホールで開催予定。          アウトリーチ活動を予定</p> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;          ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)          ・芸術祭等開催事業(7,263千円)          ・文芸祭開催事業(1,940千円)          ・街角イベント推進事業(820千円)          ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)          ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)          ・中崎寄席開催事業(870千円)          ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市民				人数・数量等	290,946人 (平成25年8月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
平成18年度	法令による努力義務			文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条				
<b>事業の変遷</b>								
平成 18 年度	(財)コミュニティ創造協会により明石フィルハーモニー管弦楽団が設立。							
平成 21 年度	ジュニア・オーケストラの創設							
平成 23 年度	(財)コミュニティ創造協会に対する委託料と補助金を一本化							
平成 24 年度	補助金を段階的に削減							
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	8,500	8,300	7,000	7,000	3,500	3,000	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源 一般財源	918 7,582	619 7,681	0 7,000	0 7,000	0 3,500	0 3,000	
定期演奏会委託経費		4,500	4,200	3,000	0	0	0	
補助金		4,000	4,100	4,000	7,000	3,500	3,000	
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
定期演奏会の開催		回	2	2	2	2	2	2
特別演奏会の開催		回	1	1	0	0	0	0
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	市民交響楽団	事務局	補助		要素4	要素5		
明石市	明石フィルハーモニー管弦楽団	(公財)明石文化芸術創生財団	市からの補助あり					
神戸市	神戸フィルハーモニック	(公財)神戸市民文化振興財団	財団からの補助あり (市から財団への補助あり)					
稲美町	-	-	-					
播磨町	-	-	-					
加古川市	加古川フィルハーモニー		定期演奏会の開催について、「加古川市文化のまちづくり活動助成」を利用					
高砂市	-	-	-					
姫路市	姫路交響楽団		財団からの補助あり (市から財団への補助あり)					

事務事業詳細説明資料

No.	143	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業	所管部課	文化・スポーツ部文化振興課			
<b>事業内容</b>								
<p>・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)            &lt;平成25年度&gt;            2月8日(土)～9日(日)生涯学習センターで開催予定。            明石市長杯青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団に移管。            ホールプログラムについては明石文化芸術創生財団に委託し実施。</p> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;            ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)            ・芸術祭等開催事業(7,263千円)            ・文芸祭開催事業(1,940千円)            ・街角イベント推進事業(820千円)            ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)            ・市民交響楽団支援事業(3,000千円)            ・中崎寄席開催事業(870千円)            ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市民			人数・数量等	290,946人 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
平成17年度	法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条					
<b>事業の変遷</b>								
平成 17 年度	平成18年2月5日、第1回開催。							
平成 18 年度	平成19年1月21日、第2回開催。							
平成 19 年度	平成20年1月20日、第3回開催。							
平成 20 年度	平成21年1月25日、第4回開催。							
平成 21 年度	平成22年1月31日、第5回開催。							
平成 22 年度	平成23年2月5日、第6回開催。							
平成 23 年度	平成24年2月4日・5日、第7回開催。							
平成 24 年度	平成25年2月9日・10日、第8回開催。							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	1,358	1,172	1,243	1,310	1,366	500	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源 一般財源	0 1,358	0 1,172	0 1,243	0 1,310	0 1,366	0 500	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
こども将棋大会参加者	人	123	139	139	155	156	160	
指導対局参加者	人	43	82	82	72	96	40	
ホールプログラム参加者	人	230	250	250	215	202	290	
自治体名	事業名	会場	参加費(大人)	参加費(小人)	要素5			
明石市	明石将棋フェスティバル	明石市生涯学習センター	平成24年度まで無料	平成24年度まで無料				
神戸市	こども将棋まつり	神戸ハーバーランドスペースシアター	なし	無料(小・中学生対象)				
稲美町	なし	なし	なし	なし				
播磨町	播磨町長杯将棋大会	播磨町中央公民館	2,000円	1000円				
加古川市	「加古川清流戦」 「加古川将棋まつり」	市立青少年女性センター ニッケパークタウ	無料 無料	無料 無料				
高砂市	「高砂駒桜杯争奪戦」	福祉保健センター	3,000円～3,500円	700円(小・中・高生)				
姫路市	なし	なし	なし	なし				

# 事務事業詳細説明資料

No.	144	事務事業名	中崎寄席開催事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課		
<b>事業内容</b>								
<p>・中崎寄席開催事業(870千円)          &lt;平成25年度&gt;          11月10日(日)中崎公会堂で開催予定。          明石ゆかりの若手落語家による寄席の世界を楽しんでいただき、市民に芸能の鑑賞機会を提供する。</p> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;          ・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)          ・芸術祭等開催事業(7,263千円)          ・文芸祭開催事業(1,940千円)          ・街角イベント推進事業(820千円)          ・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)          ・市民交響楽団支援事業(3,000千円)          ・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)          ・こども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
<b>対象</b>		市民			<b>人数・数量等</b>		290,946人 (平成25年8月1日 時点)	
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>		<b>根拠法令・要綱等</b>				
平成2年度		法令による努力義務		文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条				
<b>事業の変遷</b>								
平成 2 年度	明石市立市民会館自主事業として、中崎公会堂で開催。明石の味覚付き。							
平成 7 年度	第6回開催。この年より“笑福亭鶴瓶”氏が出演。(平成24年まで出演)							
平成 19 年度	市民会館自主事業から、文化芸術部文化振興課に所管移る。							
平成 23 年度	会場が生涯学習センター子午線ホールになる。この年から明石の味覚なし。							
平成 25 年度	会場を中崎公会堂に移し、明石にゆかりの若手落語家の出演。							
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>			<b>H20決算</b>	<b>H21決算</b>	<b>H22決算</b>	<b>H23決算</b>	<b>H24決算</b>	<b>H25当初予算</b>
<b>財源内訳</b>	<b>事業費</b>		1,486	1,508	1,513	1,585	1,834	870
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	<b>その他特定財源</b>		925	936	901	1,055	1,055	315
一般財源		561	572	612	530	779	555	
<b>事業の実績の推移</b>			<b>H20実績</b>	<b>H21実績</b>	<b>H22実績</b>	<b>H23実績</b>	<b>H24実績</b>	<b>H25予定</b>
<b>入場者数</b>		<b>単位</b>	246	263	253	293	293	250
		<b>人</b>						
<b>他自治体との比較</b>								
<b>自治体名</b>	<b>事業名</b>	<b>会場(平成25年度)</b>		<b>前売り券(平成25年度)</b>		<b>当日券(平成25年度)</b>		<b>要素5</b>
明石市	中崎寄席	明石市生涯学習センター		3,600円		4,000円		
神戸市	兵庫区民寄席	兵庫区役所		1,000円		1,200円		
稲美町	なし	なし		なし		なし		
播磨町	なし	なし		なし		なし		
加古川市	なし	なし		なし		なし		
高砂市	高砂寄席	高砂市文化会館		2,500~3,500円		3,000~4,000円		
姫路市	キャスパ寄席	姫路キャスパホール		2,000円 (高校生以下1,000)		同じ		
芦屋市(県内)	市民寄席	芦屋市民センター		2,500円		3,000円		

## 事務事業詳細説明資料

No.	145	事務事業名	明石薪能開催事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課			
<b>事業内容</b>									
伝統芸能の理解と継承を進めるため、市民を対象に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供する。									
<b>事業の対象</b>									
対象	市民				人数・数量等	290,946人 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等					
平成元年度	法令による努力義務			文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条					
<b>事業の変遷</b>									
平成 元 年度	明石市観光協会を事務局に明石薪能の会が発足。明石公園特設能舞台にて明石薪能を開催。								
平成 11 年度	第8回明石薪能を開催。以後しばらく開催なし。								
平成 18 年度	文化振興課を事務局として明石薪能の会により明石薪能再開。								
平成 19 年度	県の組立式能舞台(移動式)柿落し。以後、組立式能舞台を用いて薪能を開催。								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>				H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
財源内訳	事業費			2,000	2,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	県支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他特定財源			0	0	0	0	0	0
一般財源			2,000	2,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
<b>事業の実績の推移</b>		単位		H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
来場者数		人		1,600	1,200	1,000	600	1,300	1,300
<b>他自治体との比較</b>									
自治体名	能開催	主催	市の立場	入場料(前売り)	要素5				
明石市	明石薪能	明石薪能の会	共催	2500円					
神戸市	①「神戸薪能」	①神戸薪能協会	①後援	①2000円					
	②「六甲アイランド能」	②六甲アイランドフェスティバル実行委員会	②後援	②4000円					
	③「須磨薪能」	③須磨薪能実行委員会	③事務局(須磨区)	③3000円					
稲美町	-	-	-	-					
播磨町	-	-	-	-					
加古川市	加古川能	加古川能の会	後援	3000円					
高砂市	高砂観月能	高砂観月能の会 高砂市	主催	2000円					
姫路市	姫路城薪能	姫路城薪能奉賛会	後援	無料					
尼崎市	①「尼崎薪能」	①尼崎市総合文化センター、尼崎市	①主催	①無料					
	②「富松薪能」	②山村雄研社、富松薪能の会	②後援	②無料					

## 事務事業詳細説明資料

No.	146	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業		所管部課	文化・スポーツ部文化振興課				
<b>事業内容</b>										
<p>・子ども・親子対象芸術鑑賞事業(860千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby Meets Musicあかし」を開催。</li> <li>平成25年9月8日(日)明石市立西部市民会館ホール 出演:瀧村依里(ヴァイオリン)</li> <li>平成25年9月18日(水)明石市生涯学習センター子午線ホール 出演:チェロ・アンサンブル・エクラ</li> </ul> <p>&lt;参考:他の文化芸術関連事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術創生基本計画推進事業(3,484千円)</li> <li>・芸術祭等開催事業(7,263千円)</li> <li>・文芸祭開催事業(1,940千円)</li> <li>・街角イベント推進事業(820千円)</li> <li>・文化芸術こどもクラブ開催事業(2,048千円)</li> <li>・市民交響楽団支援事業(3,000千円)</li> <li>・明石将棋フェスティバル開催事業(500千円)</li> <li>・中崎寄席開催事業(870千円)</li> </ul>										
<b>事業の対象</b>										
対象		市民			人数・数量等		290,946人 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度		市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等					
平成24年度		法令による努力義務			文化芸術振興基本法第2条、第4条、第35条、明石文化芸術創生条例第1条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条					
<b>事業の変遷</b>										
平成 22 年度	「Baby Meets Musicあかし」を試行実施(～平成23年度)									
平成 24 年度	単独事業化									
平成 25 年度	好評につき、東部・西部にて各1回ずつ開催									
事業費の推移(単位:千円)			H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算		
財源内訳	事業費		0	0	0	21	308	860		
	国支出金		0	0	0	0	0	0		
	県支出金		0	0	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0	0	0	0		
	その他特定財源		0	0	0	0	0	0		
一般財源		0	0	0	21	308	860			
事業の実績の推移			単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績		H25予定
参加人数			人	-	-	-	43組 116人	①90組 210人 ②80組 208人		①75組 223人 ②84組 207人
<b>他自治体との比較</b>										
自治体名	開催の有無	要素2	要素3	要素4	要素5					
明石市	有									
神戸市	灘区にて有									
稲美町	なし									
播磨町	なし									
加古川市	なし									
高砂市	なし									
姫路市	なし									

## 事務事業詳細説明資料

No.	147	事務事業名	生涯学習推進事業	所管部課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
<b>事業内容</b>								
<p>・市民の教養の向上及び生きがいの創造とともに、市民一人ひとりの学びの地域への還元を図るため、様々な講座やイベントを実施するなど、市民が多種多様な生涯学習に取り組むことができる機会を提供する。</p> <p>①クッキングアカデミー(409千円)、②生涯学習指導者会への支援(100千円)、③明石シニアカレッジ(200千円)、④コミセン生涯学習事業(9,200千円)、⑤あかし市民企画 みんなの講座(1,200千円)、⑥あかし楽講座(897千円)、⑦あかし“ジモとも”セミナー(534千円)を実施。</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市民			人数・数量等	290,946 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
平成14年度	法令による規定なし		明石市生涯学習センター条例、同施行規則					
<b>事業の変遷</b>								
平成 14 年度	明石市生涯学習センター開設。生涯学習推進事業開始。(あかし楽講座、文化講演会、パソコン講習会、親子のチャレンジ教室、明日の親のための子育て講座、ふるさと絵はがき・年賀状教室など7事業を実施)							
平成 14 年度	明石シニアカレッジ発足(所管はあかねが丘学園)							
平成 16 年度	市民企画型講座の「市民カレッジ ゆうゆう塾」、子ども対象の「ジュニアアカデミー」、料理教室「クッキングアカデミー」開始。(事業数=10)							
平成 18 年度	生涯学習センター、同分室が教育委員会から市長部局(文化芸術部)に移管							
平成 18 年度	スタジオを利用した「レコーディング講座」開始。(事業数:10)							
平成 19 年度	「文化講演会」を「みんなで考える市民セミナー」に刷新。様々なステージパフォーマンスを行う市民の発表会「パフォーマンスアカデミー」開始。(事業数:9)							
平成 20 年度	明石シニアカレッジ、コミセン高齢者大学があかねが丘学園から生涯学習センターに移管							
平成 20 年度	未婚の若者対象の「スキルアップ社会人交流セミナー」開始。県芸文協会との共催による「ふるさとの歴史教室 明石校」開始。ケーブルテレビとの連携による「TV番組制作講座」実施。(事業数:15)							
平成 21 年度	明石市生涯学習ビジョン策定							
平成 21 年度	「高齢者インターネット教室」が情報管理課から生涯学習センターに移管。県からの委託により視覚障害者対象の「青い鳥学級」を実施(平成23年度までの3年間)。(事業数:16)							
平成 23 年度	「高齢者インターネット教室」の対象を高齢者からあらゆる世代の市民に拡大し「わくわくあかしインターネット教室」とする。							
平成 24 年度	中学校区コミュニティ・センターが、生涯学習センターに移管							
平成 24 年度	事業の見直しにより「パソコン講座」、「わくわくあかしインターネット教室」、「みんなで考える市民セミナー」、「レコーディング講座」を休止。(事業数:9)							
平成 25 年度	事業の見直しにより「パフォーマンスアカデミー」を休止。「スキルアップ社会人交流セミナー」を「あかし“ジモとも”セミナー」に、「市民カレッジ ゆうゆう塾」を「あかし市民企画 みんなの講座」に、「クッキングアカデミー」の内容を刷新。「ジュニアアカデミー」を「あかし楽講座」に統合。(事業数:7)							
<b>経費の負担</b>								
市負担=95.3%、受講者・参加者負担=4.7%								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	17,144	19,492	20,287	19,597	14,082	12,540	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	1,166	531	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	1,767	1,414	1,404	1,335	694	590	
	一般財源	15,377	18,078	17,717	17,731	13,388	11,950	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
主催講座・イベント参加者数		人	4,412	6,439	7,438	7,212	5,256	3,500
コミセン高齢者大学入学者数		人	908	903	956	1,013	1,012	997
明石シニアカレッジ入学者数		人	104	116	124	118	134	139
コミセン市民講座等参加者数		人	—	—	—	—	8,754	8,800

事務事業詳細説明資料

No.	147	事務事業名	生涯学習推進事業	所管部課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター
他自治体との比較					
自治体名	高齢者大学等	地域学講座	市民企画型講座	若者対象講座	その他
明石市	①コミセン高齢者大学 ②明石シニアカレッジ	あかし楽講座 ①歴史講座 ②現地特別講座 ③高専・学院大連携講座 ④こどもあかし楽講座	あかし市民企画 みんなの講座	あかし“ジモとも”セミナー	①クッキングアカデミー「あかしのめぐみ」 ②コミセン市民講座・コミセン親子教室等
神戸市 類似事業の有無を表示	有	有	有	無	①料理教室 ②公民館生涯学習事業
加古川市 類似事業の有無を表示	有	有	有	有	歴史ボランティアリーダー養成講座等
高砂市 類似事業の有無を表示	有	有	無	無	
姫路市 類似事業の有無を表示	有	無	無	無	生涯学習大学校
播磨町 類似事業の有無を表示	有	有	無	有	①チャレンジ漢字 ②たのしい算数 ③夏休み教室・ウインター教室 ④パソコン講座
稲美町 類似事業の有無を表示	有	無	無	無	①わくわくサマースクール ②ふれあい体験教室

事務事業詳細説明資料

No.	148	事務事業名	あかねが丘学園運営事業	所管部課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園			
<b>事業内容</b>								
<p>・あかねが丘学園は、高齢者に「教養の向上」、「生きがいの創造」、「地域社会活動への参画」、「地域社会活動指導者の養成」を目的に、良質な学習機会及び環境を整備する。</p> <p>本校では3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけるよう学習する。</p> <p>【平成25年度】</p> <p>①本校 コース：景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人)          学生数：303人(1学年124人、2学年79人、3学年100人)          学習日：月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年</p> <p>②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。</p> <p>・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講)          主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>④地域活動グループ数：80、地域活動実施回数：851回</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石市在住の60歳以上の人			人数・数量等	89,899人 (平成25年4月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い	根拠法令・要綱等						
昭和56年度	法令による規定なし	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則						
<b>事業の変遷</b>								
昭和 56 年度	明石公園内の中央公民館で2年制の高齢者大学として開校							
昭和 58 年度	大久保町西島に移転。正式に4年制の高齢者大学として発足							
平成 12 年度	松が丘に移転(松が丘南小学校の廃校にともない校舎を改修して使用)							
平成 14 年度	地域貢献活動を最終目的としたカリキュラムを編成し、4年制を3年制に7学科を5専攻コースに変更							
<b>経費の負担</b>								
学習資料代として年額15,000円、他								
事業費の推移(単位：千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	21,462	21,645	22,101	22,580	21,827	22,751	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	5,549	5,833	5,166	5,070	4,657	5,316	
一般財源		15,913	15,812	16,935	17,510	17,170	17,435	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
学生数	人	349	323	321	315	288	303	
入学者数	人	109	116	120	123	89	124	
ボランティア登録者数	人	885	1,027	1,258	1,200	1,230	1,200	
ボランティアグループ数	グループ	72	79	82	79	80	85	
ボランティア実施延べ人数	人	6,999	8,191	8,866	6,094	6,101	6,000	
ボランティア実施回数	人	1,491	1,655	1,466	1,001	851	1,000	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	学園名	受講料	その他費用	受講期間	H25年度入学者数/定員			
明石市	あかねが丘学園	15,000円	実習費他	3年	124人/165人			
神戸市	神戸市シルバーカレッジ	50,000円～56,000円	実習費	3年	401人/420人			
稲美町	あたご大学	3,000円(学生自治会費)		1年	680人/650人			
播磨町	ことぶき大学	7,000円(学生自治会費)	入学金5,000円、教材費	3年	49人/80人			
加古川市	高齢者大学校	2,000～3,000円	材料費	1～4年	公民館ごとに異なる			
高砂市	松陽学園	1,500円(資料代)	資料代	4年	80人/130人			
姫路市	好古学園	市内無料、市外6,000円		4年	562人/600人			
三木市	三木市高齢者大学校	10,000円	入学金12,000円	4年	66人/75人			
兵庫県	いなみ野学園	50,000円	入学金6,000円、実習費	4年	364人/340人			
兵庫県	うれしの学園	12,500円	教材費	4年	73人/60人			

## 事務事業詳細説明資料

No.	149	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業	所管部課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園			
<b>事業内容</b>								
<p>・あかねが丘学園は、高齢者に「教養の向上」、「生きがいの創造」、「地域社会活動への参画」、「地域社会活動指導者の養成」を目的に、良質な学習機会及び環境を整備する。</p> <p>西分校では2年間の系統立てた学習プログラムのもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけるよう学習する。</p> <p>【平成25年度】</p> <p>①分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人)          学生数：65人(1学年27人、2学年38人)          学習日：火曜 1学年、金曜 2学年</p> <p>②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学习・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講)          主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石市在住の60歳以上の人			人数・数量等	89,899人 (平成25年4月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
平成21年度	法令による規定なし		明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則					
<b>事業の変遷</b>								
平成 21 年度	二見町東二見に2年制2専攻コースの西分校を開校							
<b>経費の負担</b>								
学習資料代として年額15,000円、他								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	0	9,730	14,924	14,598	14,664	16,250	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源 一般財源	0	765	1,275	990	1,065	1,080	
		0	8,965	13,649	13,608	13,599	15,170	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
学生数	人	—	51	85	66	71	65	
入学者数	人	—	51	40	32	43	27	
卒業生ボランティアグループ数	グループ	—	—	—	3	4	5	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	学園名	受講料	その他費用	受講期間	H25年度入学者数/定員			
明石市	あかねが丘学園	15,000円	実習費他	2年	27人/51人			
神戸市	神戸市シルバーカレッジ	50,000円～56,000円	実習費	3年	401人/420人			
稲美町	あたご大学	3,000円(学生自治会費)		1年	680人/650人			
播磨町	ことぶき大学	7,000円(学生自治会費)	入学金5,000円、教材費	3年	49人/80人			
加古川市	高齢者大学校	2,000～3,000円	材料費	1～4年	公民館ごとに異なる			
高砂市	松陽学園	1,500円(資料代)	資料代	4年	80人/130人			
姫路市	好古学園	市内無料、市外6,000円		4年	562人/600人			
三木市	三木市高齢者大学校	10,000円	入学金12,000円	4年	66人/75人			
兵庫県	いなみ野学園	50,000円	入学金6,000円、実習費	4年	364人/340人			
兵庫県	うれしの学園	12,500円	教材費	4年	73人/60人			

## 事務事業詳細説明資料

No.	150	事務事業名 商業振興対策事業	所管部課 産業振興部商工労政課					
<b>事業内容</b>								
<p>・中小企業者の経営安定と発展を促進するため、市内の比較的小規模の事業者を対象に経営改善指導、各種相談及び研修等を実施する。</p> <p>①明石商工会議所に委託し中小企業経営指導事業(税務、経理、経営、法律等の個別指導及び簿記講座、経営塾等の集団指導)を行うとともに、明石商工会議所が実施する講習・講演会事業及び研修会事業について補助を行う。(4,300千円)                  ②明石商工会議所に委託し、若手商業経営者交流研究事業を実施(700千円)                  ③明石商店街連合会が行う研修事業、調査活動等について補助を行う。(270千円)</p> <p>(その他の事業費478千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	①市内中小企業者 ②若手商業経営者交流会参加者 ③商店街連合会加盟団体			人数・数量等	①不明(商工会議所会員数1,600) ②9団体及び30個人③16商店団体 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和45年度	法令による規定なし		明石商工会議所講習会・講演会事業及び研修会事業助成金交付要綱					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 45 年度	明石市商店街連合会補助事業を開始。							
昭和 47 年度	中小企業経営指導事業委託を開始。							
昭和 47 年度	明石商工会議所の講習・講演会事業及び研修会事業の補助事業を開始。							
平成 3 年度	若手商業経営者交流研究事業の開始							
<b>経費の負担</b>								
・中小企業経営指導事業委託(3,500千円) ・明石商工会議所の講習・講演会事業及び研修会事業の補助事業(対象経費の50%、800千円) ・若手商業経営者交流研究事業委託(700千円) ・明石市商店街連合会補助事業(270千円)								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
事業費		5,768	37,664	11,350	6,479	5,182	5,748	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	2	2	2	3	2	3	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,766	37,662	11,348	6,476	5,180	5,745	
商工会議所委託事業		3,500千円	3,500千円	3,500千円	3,500千円	3,500千円	3,500千円	
明石商工会議所補助事業		800千円	800千円	800千円	800千円	800千円	800千円	
若手商業経営者交流研究事業		590千円	700千円	687千円	520千円	590千円	700千円	
明石市商店街連合会補助事業		-	-	-	100千円	-	270千円	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
商工会議所委託事業			個別指導445件 集団指導 12講座433名	個別指導403件 集団指導 15講座914名	個別指導372件 集団指導 11講座649名	個別指導272件 集団指導 7講座445名	個別指導394件 集団指導 9講座392名	個別指導400件 集団指導 10講座500名
明石商工会議所補助事業			講習等 9回	講習等 9回	講習等 9回	講習等9回	講習等9回	講習等9回
若手商業経営者交流研究事業			3回 129人	3回 221人	3回 227人	2回 62人	3回 77人	3回 80人
明石市商店街連合会補助事業			0件	0件	0件	1件	0件	0件

## 事務事業詳細説明資料

他自治体との比較					
自治体名	商工会議所委託事業	明石商工会議所補助事業	若手商業経営者交流研究事業	明石市商店街連合会補助事業	要素5
明石市	3,500千円	対象経費の50% 800千円	700千円	270千円	
神戸市	なし	159,254千円	なし	なし	
稲美町	なし	50千円	なし	なし	
播磨町	13,300千円	なし	なし	なし	
加古川市	4,500千円	5,800千円	なし	なし	
高砂市	なし	3,041千円	なし	なし	
姫路市	10,000千円	なし	なし	23,500千円 (商店街全体)	

## 事務事業詳細説明資料

No.	152	事務事業名	中小企業融資対策事業		所管部課	産業振興部商工労政課		
<b>事業内容</b>								
<p>・中小企業者の円滑な資金調達を可能にし経営の安定化を図れるよう、市が融資にかかる原資を金融機関に預託して低利での融資を実施し、もって地域産業の活性化につなげる。(預託金 546,747千円)</p> <p>・信用保証協会に対する信用保証料を一部負担する。(5,500千円)</p> <p>(その他の事業費67千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市内中小企業者			人数・数量等	不明 (平成25年8月1日 時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和46年度	法令による規定なし		明石市中小企業融資制度要綱					
<b>事業の変遷</b>								
昭和 46 年度	中小企業融資対策事業(中小企業振興資金)を開始							
平成 14 年度	中小企業融資対策事業(中小企業短期事業資金)を開始							
平成 20 年度	中小企業融資対策事業(特別小規模企業融資)を開始							
<b>経費の負担</b>								
<p>・平成25年度 預託金(546,747千円)</p> <p>・信用保証料の一部負担(①中小企業振興資金:1/3、②特別小規模企業資金:1/2)</p>								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
事業費		317,471	326,987	375,852	446,135	535,338	552,314	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	309,759	321,600	369,700	438,300	527,200	546,747	
	一般財源	7,712	5,387	6,152	7,835	8,138	5,567	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
中小企業融資制度		件	30	55	72	75	78	80
信用保証料補助		件	16	55	72	75	78	80

事務事業詳細説明資料

No.	152	事務事業名	中小企業融資対策事業	所管部課	産業振興部商工労政課
他自治体との比較					
自治体名	中小企業融資制度	信用保証料補助	要素3	要素4	要素5
明石市	中小企業振興資金、中小企業振興資金(小規模企業者資金)、特別小規模企業資金、中小企業短期事業資金 預託総額: 547百万円	①中小企業振興資金 1/3 ②特別小規模企業資金 1/2			
神戸市	長期事業資金融資、短期資金融資、季節資金融資、小規模企業おうえん融資、無担保無保証人融資、小規模事業資金融資 等 預託総額: 9,025百万円	なし			
稲美町	なし	小規模企業者等で、かつ、県の中小企業融資制度のうち、開業資金、経営安定資金又は小規模資金の融資を受けたもので保証協会に支払った保証料の1/2(上限10万円)			
播磨町	なし	セーフティネット保証を利用して融資を受ける中小企業者に対して支払った信用保証料の1/2(上限20万円)			
加古川市	一般融資、小口融資、短期融資、小規模企業支援融資 預託総額: 250百万円	小口融資、小規模企業支援融資1/2			
高砂市	運転・設備資金融資、無担保・無保証人資金融資 預託総額: 420百万円	①一般融資(設備資金) 1/2 ②その他の融資 全額			
姫路市	小口資金、小規模企業支援資金、経営資金、短期事業資金、経営安定対策資金、起業家支援資金、新産業創造支援資金、工場等設置資金、商業基盤整対策資金、組合資金(長期) 預託総額: 2,835百万円	小口資金、小規模企業支援資金、経営安定対策資金に係る信用保証料については、1/4			

## 事務事業詳細説明資料

No.	153	事務事業名	地域経済緊急支援事業		所管部課	産業振興部商工労政課	
<b>事業内容</b>							
・市民の消費を喚起し、市内産業の活性化を図るため、市民が市内事業者の施工により住宅リフォームを行う場合に助成を行う。 (10,000千円)							
<b>事業の対象</b>							
<b>対象</b>		①直接的受益者:持家所有者 ②間接的受益者:リフォーム受注業者			<b>人数・数量等</b>	110名(業者)程度(抽選による) (平成25年3月31日 時点)	
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>		<b>根拠法令・要綱等</b>			
平成21年度		法令による規定なし		明石市産業活性化緊急支援事業実施要綱			
<b>事業の変遷</b>							
平成 12 年度	地域経済緊急支援事業(住宅リフォーム助成)を開始。						
平成 16 年度	地域経済緊急支援事業(住宅リフォーム助成)を終了。						
平成 21 年度	地域経済緊急支援事業(住宅リフォーム助成)を開始。						
<b>経費の負担</b>							
・助成条件:市民が、自己が所有し、居住する住宅を市内の施工業者を利用して、20万円以上の修繕、補修工事等を行う場合 ・補助は、経費の10%(上限10万円)							
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		<b>H20決算</b>	<b>H21決算</b>	<b>H22決算</b>	<b>H23決算</b>	<b>H24決算</b>	<b>H25当初予算</b>
<b>財 源 内 訳</b>	<b>事業費</b>	0	132,177	70,448	8,505	9,476	10,000
	<b>国支出金</b>	0	132,177	0	0	0	0
	<b>県支出金</b>	0	0	0	0	0	0
	<b>地方債</b>	0	0	0	0	0	0
	<b>その他特定財源</b>	0	0	0	0	0	0
	<b>一般財源</b>	0	0	70,448	8,505	9,476	10,000

事務事業詳細説明資料

No.	153	事務事業名	地域経済緊急支援事業	所管部課	産業振興部商工労政課
他自治体との比較					
自治体名	住宅リフォーム助成	要素2	要素3	要素4	要素5
明石市	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
神戸市	なし				
稲美町	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
播磨町	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
加古川市	なし				
高砂市	なし				
姫路市	なし				
西宮市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
相生市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
赤穂市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)の赤穂商工会議所商品券で助成。				
三木市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
加西市(県内)	50万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
篠山市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
養父市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円) ・産地証明付兵庫県産木材等使用建築物の場合、最高15万円 ・耐震改修と併せて工事をするときは、最高20万円				
朝来市(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
多可町(県内)	50万円以上の助成対象工事に対し、5%(上限5万円)				
福崎(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、5%(上限5万円)				
香美町(県内)	20万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				
新温泉町(県内)	50万円以上の助成対象工事に対し、10%(上限10万円)				

## 事務事業詳細説明資料

No.	154	事務事業名	商店街活性化支援事業		所管部課	産業振興部商工労政課		
<b>事業内容</b>								
<p>・地域の住民及び諸団体と連携して、地域の賑わいづくりと商店街の活性化を図るため、商店街振興組合、事業協同組合をはじめとする商業団体等(任意団体含む)を対象に支援を行う。</p> <p>・商店街が行う地域のにぎわいを創出する集客イベントや商店街のPR事業等の経費の助成(にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業:助成額 経費の50%。事業費12,000千円)</p> <p>・商業団体の共同施設(アーケード、街路灯等)の新設、改修費用の一部を補助(商業団体共同事業補助:助成額 工事費の1,000万円以下の部分は20%、超える部分は10%。事業費2,000千円)</p> <p>・商業団体が維持管理する街路灯、アーケード等について、夜間も点灯していることを条件に電気料を補助(商業団体街路灯電気料補助:助成額 1年分の電気料の20%。事業費3,000千円)</p> <p>・兵庫県が行う商店街・まち再生プランづくり事業補助の随伴補助(助成割合 県1/2、市1/4。事業費1,675千円)</p> <p>(その他の事業費2,709千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市内の商店街振興組合、事業協同組合をはじめとする商業団体等。任意団体を含む。				人数・数量等	市内32商業団体(商店街連合会含む) (平成25年8月1日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
昭和61年度	法令による規定なし			明石市にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業助成金交付要綱、明石市商業団体共同事業補助金交付要綱、明石市商業団体街路灯電気料補助金交付要綱				
<b>事業の変遷</b>								
昭和 61 年度	商業団体共同事業補助事業を開始。							
平成 17 年度	にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業事業を開始。							
平成 21 年度	商業団体街路灯電気料補助事業を開始							
平成 24 年度	商店街・まち再生プランづくり事業補助を開始							
<b>経費の負担</b>								
<p>・にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業:市負担50%、助成先団体負担50%</p> <p>・商業団体共同事業補助:工事費の1,000万円以下の部分は市負担20%、助成先団体負担80%。1,000万円を超える部分は市負担10%、助成先団体負担90%</p> <p>・商業団体街路灯電気料補助:1年分の電気料について、市負担20%、助成先団体負担80%</p> <p>・商店街・まち再生プランづくり事業補助:県負担50%、市負担25%、助成先団体負担25%</p>								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	17,100	18,715	21,049	16,910	19,500	21,384	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	17,100	18,715	21,049	16,910	19,500	21,384	
にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業集客イベント等補助金		14,000	14,500	15,000	13,944	14,000	12,000	
商業団体共同事業補助金		500	200	150	116	500	2,000	
商業団体街路灯電気料補助金		-	2,500	2,500	2,435	2,000	3,000	
商店街・まち再生プランづくり事業補助		-	-	-	-	1,500	1,675	
<b>事業の実績の推移</b>		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
にぎわい・ふれあい・めぐりあい商店街事業集客イベント等補助金			14団体に交付	15団体に交付	18団体に交付	15団体に交付	15団体に交付	15団体に交付
商業団体共同事業補助金			1団体に交付	2団体に交付	2団体に交付	1団体に交付	1団体に交付	5団体に交付
商業団体街路灯電気料補助金			-	11団体に交付	12団体に交付	13団体に交付	12団体に交付	13団体に交付
商店街・まち再生プランづくり事業補助			-	-	-	-	-	-

### 事務事業詳細説明資料

No.	154	事務事業名	商店街活性化支援事業	所管部課	産業振興部商工労政課
他自治体との比較					
自治体名	商店街イベント等補助	共同事業補助	街路灯電気料補助	要素4	要素5
明石市	50%(上限80万円)	1,000万円以下の部分 20% 1,000万円超の部分 10%	電気料の20%		
神戸市	1/3又は30万円	・共同施設補助 法人 25%上限600万円 非法人 20%上限500万円 ・防犯カメラ25%上限 100万円	街路灯数×1000円		
稲美町	なし	なし	なし		
播磨町	なし	なし	なし		
加古川市	50%(上限25万円)	市が設置した施設の維持 管理費全額	外灯等の電気料、散水 栓等の水道料の1/3		
高砂市	なし	なし	電気料の1/3		
姫路市	売り出し10%又は100万円 賑わい創出20%又は100 万円 商店街装飾20%又は30万 円	・アーケード、街路灯、 防犯カメラ等 設置20% 上限2500万円 改修 20%上限1000万円 ・看板、案内板等10%上 限300万円	なし		
尼崎市(県内)	なし	なし	なし		
西宮市(県内)	27%又は45万円	なし	街路の総延長、電気料 等を一定の算式にあて はめて算出(1団体数万 円～30万円)		

## 事務事業詳細説明資料

No.	155	事務事業名	TMO支援事業		所管部課	産業振興部商工労政課		
<b>事業内容</b>								
中心市街地の活性化を図るため、明石地域振興開発株式会社が所有し、管理・運営する駐車場事業に対して、経費の一部を補助することにより支援する。								
<b>事業の対象</b>								
対象	明石地域振興開発(株)が所有し、管理・運営する駐車場事業について				人数・数量等	1団体 (平成25年3月31日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い			根拠法令・要綱等				
平成13年度	法令による規定なし			明石市補助金等交付規則				
<b>事業の変遷</b>								
平成 13 年度	TMO自立支援事業補助を開始							
<b>経費の負担</b>								
明石地域振興開発(株)の駐車場床事業にかかる費用の内、以下の費用を補助対象経費としている。 固定資産税等相当額 共用部分ビル管理費負担金の一部 駐車場設備の減価償却費の1/3相当額								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	<b>事業費</b>	132,800	123,474	119,304	117,423	77,262	69,274	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	132,800	123,474	119,304	117,423	77,262	69,274	
<b>事業の実績の推移</b>		H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定	
アスピア明石駐車台数	台	497,375	517,854	549,468	566,262	556,160	570,000	
アスピア明石来館者数	人	5,723,470	5,683,497	5,728,536	5,684,964	5,550,767	5,710,000	
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	TMO支援事業補助	要素2		要素3	要素4	要素5		
明石市	補助対象経費の内容 ・固定資産税等相当額 ・共用部分ビル管理費負担金 ・駐車場設備の減価償却費							
神戸市	なし							
稲美町	なし							
播磨町	なし							
加古川市	なし							
高砂市	なし							
姫路市	なし							

# 事務事業詳細説明資料

No.	159	事務事業名	地産地消推進事業		所管部課	産業振興部農水産課			
<b>事業内容</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消を推進していくことで、市民の食の安全・安心を確立するとともに、農・漁業者の経営安定を図る。</li> <li>・小中学校及び市民を対象にした明石の水産物を使った調理実習、料理教室等の実施(3,000千円)</li> <li>・小学生と保護者を対象に農作物の栽培・収穫体験等の実施(1,100千円)</li> <li>・加工商品、素材を生かしたレシピの開発やイベントなどの実演販売の実施(150千円)</li> <li>・兵庫県農林漁業祭へ出展し、県内外にPRを行う。(550千円)</li> <li>・直売所向け野菜生産のためのパイプハウス導入補助(補助割合: 県1/3、市1/5。事業費670千円)</li> </ul>									
<b>事業の対象</b>									
<b>対象</b>		市内の農漁業者及び一般市民			<b>人数・数量等</b>		延べ約5,400人 (平成24年度末時点)		
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>		<b>根拠法令・要綱等</b>					
平成15年度		法令による規定なし		明石市第5次長期総合計画					
<b>事業の変遷</b>									
平成 15 年度	農作物の栽培・収穫体験等イベント、直売所向け野菜生産用パイプハウス導入補助を開始								
平成 16 年度	兵庫県農林漁業祭への出展を開始								
平成 21 年度	明石市水産物消費拡大地産地消推進事業を開始。(県漁連へ委託。25年度まで。)								
平成 22 年度	明石産水産物の学校教育等への提供を開始。								
<b>経費の負担</b>									
パイプハウス助成は市1/5、県1/3。栽培・収穫イベントは市が負担(一部参加者負担)。水産物消費拡大、水産物の学校教育への提供は市が負担。									
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>			<b>H20決算</b>	<b>H21決算</b>	<b>H22決算</b>	<b>H23決算</b>	<b>H24決算</b>	<b>H25当初予算</b>	
<b>財源内訳</b>	<b>事業費</b>		1,591	11,303	15,500	7,781	8,345	5,470	
	国支出金		0	0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源		0	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,591	11,303	15,500	7,781	8,345	5,470	
栽培、収穫体験事業			815	814	1,400	1,120	2,200	1,250	
兵庫県農林漁業祭出展			100	200	800	800	800	550	
パイプハウス導入補助			676	629	1,117	861	345	670	
水産物消費拡大地産地消推進事業				2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
明石産水産物の学校教育への提供					3,000	3,000	3,000	1,000	
明石海苔提供(県漁連)					2,891				
明石海苔提供(学校給食会)					3,492				
転入者プレゼント					800				
スタジアムマルシェ				7,000					
農業近代化整備事業				660					
<b>事業の実績の推移</b>			<b>単位</b>	<b>H20実績</b>	<b>H21実績</b>	<b>H22実績</b>	<b>H23実績</b>	<b>H24実績</b>	<b>H25予定</b>
栽培、収穫体験の参加者数		人	600	434	673	2,437	1,870	1,900	
パイプハウス導入数		棟	5	5	7	6	2	4	
水産物消費拡大地産地消推進事業の参加者数		人		986	650	650	1,382	1,400	
明石産水産物の学校教育等への提供の実施人数		人			2,940	2,415	2,135	2,100	
<b>他自治体との比較</b>									
<b>自治体名</b>	<b>明石の水産物を使った調理実習・料理教室等</b>	<b>親子農業体験</b>	<b>加工、レシピ開発とイベント実施</b>	<b>兵庫県農林漁業祭への出展</b>	<b>野菜生産設備(パイプハウス)に対する補助</b>				
明石市	漁協女性部・県漁連に委託(3,000千円)	農協に委託(1,100千円)	農業関係団体に委託(150千円)	まちづくりNPOに委託(550千円)	事業費の1/5				
神戸市	制度無し	制度無し	制度無し	みのりの祭典(2,830千円)	制度無し				
稲美町	制度無し	制度無し	制度無し	出展無し	事業費の25%				
播磨町	制度無し	制度無し	米消費拡大のため、米料理について実施(80千円)	出展無し	制度無し				
加古川市	制度無し	制度無し	制度無し	出展無し	制度無し				
高砂市	制度無し	制度無し	制度無し	出展無し	制度無し				
姫路市	制度無し	小学生の親子を対象に実施(145千円)	制度無し	姫路市農林漁業まつり(5,000千円)	50%補助(1事業あたり上限50万円)				

事務事業詳細説明資料

No.	160	事務事業名	水産一般振興事業	所管部課	産業振興部農水産課			
<b>事業内容</b>								
沿岸漁業の近代化を図り、経営の合理化と安定化を図る。 明石タイ・タコ・ノリ等の水産物や、スイートコーン・キャベツ・イチゴ等の農産物等、明石の数々の製品の国内外における認知を高め、販路開拓や市場拡大を図り、併せて高付加価値化による収益性の向上を図る等、農業・漁業の活性化と経営安定化を目指す。								
①多目的倉庫の維持管理を行う。(平成8年から) 警備業務・消防設備点検業務等(262千円)								
②明石産品ブランド化事業 ブランド化を進めるため、「新商品の開発」、明石産品の「プロモーション販売」の開催やメディアを駆使した「PR」などの事業を広く展開する。(2,500千円)  (実績) H24: 西武高槻店、よしもと47ご当地市場で「明石観光物産展」を開催。東京明石会でのPRを実施した。(14,102千円)								
③兵庫県沿岸漁業振興協議会等への負担金(828千円)  (財政計画) ①漁業操業安全推進事業 漁船保険の個人負担保険料の14.0%を補助。(S.31~)[財政計画] ②漁業近代化資金等補助事業 漁業近代化資金の貸付実行額の1.6%以内を補助。 豊かな海づくり資金の貸付実行額の0.8%以内を補助。(S.44~)[財政計画] ③のり養殖経営安定対策事業 特定養殖共済(のり共済)の契約者負担額の14.0%を補助。(H.8~)[財政計画]								
<b>事業の対象</b>								
対象	市内に住所を有する水産業協同組合法で定める水産業協同組合及びその組合員。			人数・数量等	832人 (平成24年12月時点)			
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等					
昭和31年度	法令による規定なし		明石市補助金等交付規則、明石市水産業補助金交付要綱、消防法					
<b>事業の変遷</b>								
昭和31年度	漁業操業安全推進事業補助(漁船保険補助)							
昭和44年度	近代化資金等補助							
平成8年度	近代化資金補助:貸付実行額の2.0% 漁業振興資金:貸付実行額の1.0% 漁船保険:契約者負担額の18.0% のり養殖経営安定対策事業補助(のり共済):契約者負担額の18.0%							
平成19年度	補助率20%削減 近代化資金補助:貸付実行額の1.6% 豊かな海づくり資金:貸付実行額の0.8% 漁船保険:契約者負担額の14.4% のり養殖経営安定対策事業補助(のり共済):契約者負担額の14.4%							
平成25年度	補助率削減 漁業操業安全推進事業補助(漁船保険):契約者負担額の14.4%→14.0% のり養殖経営安定対策事業補助(のり共済):契約者負担額の14.4%→14.0%							
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費	57,231	50,913	57,094	42,782	56,536	3,590	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	57,231	50,913	57,094	42,782	56,536	3,590	
	漁業操業安全推進事業補助	24,576	17,407	17,936	17,740	17,910	(財政計画)	
	漁業近代化資金等補助	5,288	1,710	5,420	1,382	1,130	(財政計画)	
	のり養殖経営安定対策事業補助	26,773	30,600	32,971	22,647	22,077	(財政計画)	
	ブランド化					14,102	2,500	
	松陰多目的倉庫警備業務	189	189	189	189	189	189	
	松陰多目的倉庫消防設備点検業務	73	73	73	73	73	73	
	兵庫県沿岸漁業振興協議会負担金	332	934	505	751	1,055	828	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
	漁業操業安全推進事業補助	件	1,145	1,111	1,096	1,069	1,039	(財政計画)
	漁業近代化資金等補助	件	23	12	24	9	8	(財政計画)
	のり養殖経営安定対策事業補助	件	90	88	85	83	79	(財政計画)
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	漁業操業安全推進事業補助	漁業近代化資金等補助	のり養殖経営安定対策事業補助	ブランド化	要素5			
明石市	契約者支払額の14.0%	単年のみ1.6%以内	契約者支払額の14.0%	3,000千円				
神戸市	契約者支払額の50.0%	利子補給0.625%	契約者支払額の10.0%	750千円				
稲美町	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし				
播磨町	契約者支払額の50.0%	利子補給1.0%以内	該当なし	該当なし				
加古川市	契約者支払額の50.0%	該当なし	該当なし	該当なし				
高砂市	契約者支払額の50.0%	単年のみ2.0%以内	該当なし	該当なし				
姫路市	該当なし	利子補給1.0%以内	該当なし	該当なし				
淡路市	契約者支払額の5.0%	利子補給1.0%以内	契約者支払額の10.0%					
他自治体比較 備考		(神戸市ブランド化)①アサリの復活 ②新商品化 ③ブランド再構築						

## 事務事業詳細説明資料

No.	161	事務事業名	栽培漁業推進事業		所管部課	産業振興部農水産課		
<b>事業内容</b>								
マダイ、マダコ、ヒラメはじめとする魚介類は気象、海況、自然の条件により漁獲量が変動し、減少することが多いことから主要な水産種苗を適地に放流することで資源維持の底支えを図り、より安定した漁獲高が上がるようにする。								
①漁業者から聞き取りなどを行い、明石市地先の沿岸海域に適した種苗を種苗生産施設から調達し、適地に放流する。(2,181千円) マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流する。								
(実績)								
H23:マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流した。(46,000尾)								
H24:マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流した。(42,000尾)								
②兵庫県漁業調整規則34条の3で規定された稚魚育成漁場(禁漁区)の適切な管理を行う。(293千円)								
③マダコ産卵用タコツボを明石市地先の好適地へ投入する。(1,613千円) 明石市地先海域へタコツボ3,200個を投入する。								
(実績)								
H23:明石地先海域へタコツボ3,200個を投入した。								
H24:明石地先海域へタコツボ3,200個を投入した。								
<b>事業の対象</b>								
対象		水産資源 漁業者			人数・数量等		832人 (平成24年12月 時点)	
事業開始年度		市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
不明		法令による努力義務		漁業法第65条、水産資源保護法第4条、持続的養殖生産確保法第4条				
<b>事業の変遷</b>								
年度		マダコ増殖事業 放流)		漁場管理事業運営委託(稚魚育成成漁場管理)		栽培漁業推進事業(水産種苗直接)		
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費		3,764	4,156	4,123	4,087	4,087	4,113
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0	0
一般財源		3,764	4,156	4,123	4,087	4,087	4,113	
産卵用たこつぼ		1,248	1,653	1,638	1,613	1,613	1,613	
稚魚放流		2,181	2,181	2,181	2,181	2,181	2,181	
禁漁区管理		293	293	293	293	293	293	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
産卵用たこつぼ		個	2,050	2,715	3,250	3,200	3,200	3,200
稚魚放流		尾	52,000	62,000	57,500	46,000	42,000	42,000
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	産卵用たこつぼ	稚魚放流	要素3		要素4		要素5	
明石市	1,613千円	2,181千円						
神戸市	該当なし	58,392千円						
稲美町	該当なし	該当なし						
播磨町	該当なし	該当なし						
加古川市	200千円	300千円						
高砂市	該当なし	2,250千円						
姫路市	該当なし	5,200千円						
淡路市	産卵用たこつぼ・種苗放流合わせて10,300千円	産卵用たこつぼ・種苗放流合わせて10,300千円						

# 事務事業詳細説明資料

No.	162	事務事業名	のり養殖緊急支援対策事業		所管部課	産業振興部農水産課	
<b>事業内容</b>							
急激な経営の悪化に対処するため緊急の支援を行い、経営の再建及び安定を図る。							
平成20年3月5日の船舶事故による油濁被害により、豊かな海づくり資金(災害資金)の融資を受けた漁業者に利子補給及び、信用保証料を補助する(平成27年度まで)。同じく、農林漁業セーフティネット資金の利子補給を行う(平成29年度まで)。							
H25							
		豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給	4,080千円(295件)				
		豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助	1,497千円(295件)				
		農林漁業セーフティネット資金利子補給	7,513千円(279件)				
(実績)							
H24:							
		豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給	6,272千円(295件)				
		豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助	2,369千円(295件)				
		農林漁業セーフティネット資金利子補給	9,134千円(279件)				
H23:							
		豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給	8,494千円(295件)				
		豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助	3,300千円(295件)				
		農林漁業セーフティネット資金利子補給	10,864千円(279件)				
<b>事業の対象</b>							
対象	のり養殖業を営む漁業者(ゴールドリーダー号沈没による油濁被害を受けたのり養殖業者)			人数・数量等	延べ574人 (平成24年12月 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
平成19年度	法令による規定なし		のり養殖緊急支援対策事業交付要綱、明石市豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給要綱、明石市豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助交付要綱ほか				
<b>事業の変遷</b>							
平成 19 年度	のり共済上乗せ補助						
平成 20 年度	のり共済上乗せ補助	水道料金補助	利子補給	のり網処分	被災者支援	油抜き取り調査	
平成 21 年度	のり共済上乗せ補助	水道料金補助	利子補給			油抜き取り	
平成 22 年度	のり共済上乗せ補助	水道料金補助	利子補給				
平成 23 年度	のり共済上乗せ補助	水道料金補助	利子補給				
平成 24 年度		水道料金補助	利子補給				
平成 25 年度			利子補給				
平成 26 年度			利子補給(予定)				
平成 27 年度			利子補給(予定)				
平成 28 年度			利子補給(予定)				
平成 29 年度			利子補給(予定)				
<b>経費の負担</b>							
共済金緊急助成事業補助: のり共済に加入した契約者負担額の15.6%							
水道料金緊急助成事業補助(19年度ノリ漁期水道料金支払額の50%、20年度ノリ漁期以降はのり共済の対象に該当するときのみ水道料金支払い額の20%上限)							
利子補給(豊かな海づくり資金(災害資金)):0.90~0.94%							
利子補給(豊かな海づくり資金信用保証料):0.38%							
利子補給(農林漁業セーフティネット資金):1.35~1.70%							
明石海峡船舶衝突事故緊急対策事業:ノリ廃棄処分運搬用車両借り上げ等補助(被災者支援)							
油抜き取り調査、抜き取り作業(兵庫県、神戸市、淡路市、明石市で分担)							
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>							
財源内訳	事業費	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算
	国支出金	122,542	63,781	65,057	76,694	18,096	13,090
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	122,542	63,781	65,057	76,694	18,096	13,090
	のり共済(上積み)補助	29,004	33,151	35,719	24,534		
	のり養殖水道料金補助	58,555	0	2,062	29,502	321	
	利子補給(災害資金)	6,712	12,436	10,716	8,494	6,272	4,080
	利子補給(災害資金信用保証料)	3,732	5,000	4,190	3,300	2,369	1,497
利子補給(セーフティネット資金)	9,090	13,194	12,370	10,864	9,134	7,513	
明石海峡船舶衝突事故緊急対策事業	15,449						

## 事務事業詳細説明資料

No.	162	事務事業名	のり養殖緊急支援対策事業			所管部課	産業振興部農水産課		
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定	
		のり共済(上積み)補助	件	90	90	85	83		
		のり養殖水道料金補助	件	90	0	13	110	1	
		利子補給(災害資金)	件	295	295	295	295	295	
		利子補給(災害資金信用保証料)	件	295	295	295	295	295	
		利子補給(セーフティネット資金)	件	279	279	279	279	279	
		明石海峡船舶衝突事故緊急対策事業	件	42					
他自治体との比較									
自治体名	利子補給(災害資金)	利子補給(災害資金信用保証料)	利子補給(セーフティネット資金)	要素4	要素5				
明石市	0.90～0.94%	0.38%	1.35～1.70%						
神戸市	0.90～0.94%	0.38%	1.35～1.70%						
稲美町	該当なし	該当なし	該当なし						
播磨町	該当なし	該当なし	該当なし						
加古川市	該当なし	該当なし	該当なし						
高砂市	該当なし	該当なし	該当なし						
姫路市	該当なし	該当なし	該当なし						
淡路市	0.90～0.94%	0.38%	1.35～1.70%						

## 事務事業詳細説明資料

No.	163	事務事業名	観光市民トイレ助成事業		所管部課	産業振興部商工労政課		
<b>事業内容</b>								
<p>・中心市街地に公衆用トイレを確保し、都市機能の充実と市民の利便性向上を図るため、商業団体等が設置するトイレを、不特定多数の市民・観光客等が利用できるトイレとして開放するために必要な経費の一部を補助する。</p> <p>・助成箇所:①ステーションプラザ明石(西館1F)トイレ(1,400千円)、②淡路ジェノバライン 明石船客待合所観光市民トイレ(122千円)、③うおのたな観光市民トイレ(190千円)</p>								
<b>事業の対象</b>								
対象	市の要請を受け、観光市民トイレとしてその開設に同意したトイレの設置者又は管理者。 (神戸SC開発株式会社、株式会社淡路ジェノバライン、うおのたな協同組合)				人数・数量等	3箇所  (平成25年3月31日 時点)		
<b>事業開始年度</b>		<b>市の裁量の度合い</b>			<b>根拠法令・要綱等</b>			
平成11年度		法令による規定なし			明石市観光市民トイレ開放助成事業実施要綱			
<b>事業の変遷</b>								
平成 11 年度		観光市民トイレ開放助成事業を開始						
<b>経費の負担</b>								
補助は、年度中の上下水道使用料の40%(限度額1,600千円)								
<b>事業費の推移(単位:千円)</b>		<b>H20決算</b>	<b>H21決算</b>	<b>H22決算</b>	<b>H23決算</b>	<b>H24決算</b>	<b>H25当初予算</b>	
財源内訳	<b>事業費</b>	14,370	14,100	3,911	1,694	1,759	1,712	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
<b>一般財源</b>		14,370	14,100	3,911	1,694	1,759	1,712	
<b>事業の実績の推移</b>		<b>単位</b>	<b>H20実績</b>	<b>H21実績</b>	<b>H22実績</b>	<b>H23実績</b>	<b>H24実績</b>	<b>H25予定</b>
観光市民トイレ開放助成事業		3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	
<b>他自治体との比較</b>								
<b>自治体名</b>	<b>観光市民トイレ開放助成事業</b>	<b>要素2</b>		<b>要素3</b>		<b>要素4</b>		<b>要素5</b>
明石市	上下水道使用料の40%(限度額1,600千円)							
神戸市	市民トイレ130箇所トイレの形態により謝礼金を交付9~15万円							
稲美町	なし							
播磨町	なし							
加古川市	なし							
高砂市	なし							
姫路市	なし							

# 事務事業詳細説明資料

No.	164	事務事業名	観光施設管理運営事業		所管部課	産業振興部観光振興課		
<b>事業内容</b>								
観光案内看板・観光案内所・明石公園内「とき打ち太鼓櫓」・大型観光バス駐車場等の観光関連施設の維持管理及び有効利用することにより観光環境を整備し、観光客の誘致を進めるとともに、訪れた観光客の利便性向上を図り、にぎわいを創出する。								
①明石公園外堀の白鳥の維持管理【明石市シルバー人材センターに委託】 白鳥3羽、毎日2回、給餌								
②市内各所に設置されている観光案内看板等の維持管理 観光案内看板等、市内に70箇所設置 その他管理施設・・・中部幾次郎銅像、観光案内所、とき打ち太鼓櫓(ロボット含む)、トンボの標識、子午線通過地の標柱 (修繕等箇所) 平成23年度 3箇所(江井島浜の散歩道ゲート看板=1箇所、天文科学館内芭蕉の句碑=1箇所、ふるさとの道案内看板=1箇所) 平成24年度 14箇所(とき打ち太鼓ロボット=2箇所、とき打ち太鼓櫓1箇所、中部幾次郎銅像周辺フェンス=1箇所、ふるさとの道案内看板=3箇所、観光案内看板=7箇所) 平成25年度 6箇所(とき打ち太鼓ロボット=2箇所、ふるさとの道案内看板=2箇所、観光案内看板=2箇所)《※見込み》								
③観光案内所の運営、維持管理 神戸SC開発より借用し、ステーションプラザ明石西館内に設置 観光案内や名産品の販売などを実施 常時職員1名配置 (利用者数) 平成23年度=45,805人、平成24年度=30,201人、平成25年度=30,000人《※見込み》								
④明石公園内「とき打ち太鼓」の維持管理【川崎重工業(株)ロボットビジネスセンターに委託】 定期点検9月・3月、故障時の対応など。								
⑤大型観光バス駐車場の設置・運営【明石観光協会に委託】 明石港に大型観光バス10台程度の無料駐車スペースを確保。バス業者・旅行会社にPRを行う。 平成25年7月から大蔵海岸東・西駐車場の大型バス駐車場8台分を観光バス駐車場として案内。平成25年度は駐車料金無料。 (利用実績) 平成23年度=722台、平成24年度=760台、平成25年度=700台《※見込み》								
<b>事業の対象</b>								
対象		市民及び市外からの観光客			人数・数量等		( 時点)	
事業開始年度		市の裁量の度合い		根拠法令・要綱等				
不明		法令による努力義務		観光立国推進基本法第4条				
<b>事業の変遷</b>								
昭和	39	年度	明石ステーションデパートが完成し、その一部として明石観光案内所開設					
昭和	41	年度	皇居外苑保存協会より白鳥2羽の寄贈を受ける。					
昭和	43	年度	明石観光協会事務局を明石商工会議所から明石市に所管変更					
昭和	50	年度	ライオンズクラブより白鳥4羽の寄贈を受ける。(その後孵化、死亡等で現在白鳥3羽飼育)					
平成	元	年度	国の「ふるさと創生事業」の一環として、「ふるさと創生基金」の一部を使用してふるさと案内看板を設置					
平成	元	年度	川崎重工業からとき打ち太鼓ロボットの寄贈を受ける。(櫓は、「ふるさと創生基金」の一部を使用して設置)					
平成	8	年度	明石ステーションデパート改装、明石観光案内所の場所移転(現在の場所)					
平成	12	年度	2代目とき打ち太鼓ロボット始動					
平成	22	年度	明石港(旧たこフェリー乗り場)に大型観光バス10台程度の無料駐車スペースを確保					
平成	25	年度	大蔵海岸東・西駐車場の大型バス駐車場8台分を観光バス駐車場として案内開始					
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財源内訳	事業費		4,480	4,028	18,334	19,520	15,139	12,770
	国支出金		0	0	0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0	0
一般財源		4,480	4,028	18,334	19,520	15,139	12,770	
白鳥飼育管理業務委託料		468	468	468	468	468	468	
観光案内所運営管理業務委託料		※8,700	※8,700	8,700	9,000	7,150	4,900	
とき打ち太鼓ロボット等維持管理業務委託料		699	642	723	725	723	723	
大型観光バス駐車場設置・運營業務委託料		-	-	5,410	6,300	2,780	2,900	
事業費 備考		※=平成20・21年決算額は「観光振興対策事業」として実施						
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
観光案内看板等の修繕箇所		箇所	20	22	3	3	14	6
明石観光案内所利用者数		人	49,946	50,341	51,005	45,805	30,201	30,000
大型観光バス利用実績		台	-	-	550	722	760	700
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	明石公園外堀の白鳥の維持管理	市内各所に設置されている観光案内看板等の維持管理	観光案内所の運営、維持管理	明石公園内とき打ち太鼓の維持管理	大型観光バス駐車場の設置・運営			
明石市	949千円	1,008千円	9,335千円	1,428千円	2,780千円			
神戸市	-	17,250千円	-	-	-			
稲美町	-	-	-	-	-			
播磨町	-	-	-	-	-			
加古川市	-	948千円	5,000千円	-	-			
高砂市	-	-	-	-	-			
姫路市	-	2,725千円	19,794千円	-	-			
他自治体比較 備考		他自治体では同様の事業内容がほとんどなく、類似事業の予算額を比較対象とした。						

# 事務事業詳細説明資料

No.	167	事務事業名	労働者福祉事業		所管部課	産業振興部商工労政課		
<b>事業内容</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者の福祉向上を図るとともに、求人情報を発信することで新たな雇用を創出する。</li> <li>・就労支援サイト「おしごとナビあかし」を運用する。(806千円)</li> <li>・明石労働者福祉協議会に委託し、各種勤労者福祉事業を実施する。(880千円) ※ その他560千円の運営補助あり。 (その他の事業費980千円)</li> </ul>								
<b>事業の対象</b>								
対象	①就労支援サイト: 求人、求職者 ②明石労働者福祉協議会委託事業: 市内勤労者				人数・数量等	①不定数(求人数・求職者数) ②不定数(労福協=50団体 16,645名) (平成25年3月31日 時点)		
事業開始年度	市の裁量の度合い				根拠法令・要綱等			
不明	法令による規定なし				なし			
<b>事業の変遷</b>								
平成 20 年度	委託契約成立、システム作成開始、事業者募集及び公開							
平成 21 年度	就労支援サイト運営事業の運用を開始							
<b>経費の負担</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援サイト「おしごとナビあかし」運用委託(806千円)</li> <li>・労働者福祉事業委託(880千円)</li> </ul>								
事業費の推移(単位:千円)		H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25当初予算	
財 源 内 訳	事業費	2,675	2,905	2,759	2,746	2,747	2,666	
	国支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,675	2,905	2,759	2,746	2,747	2,666	
就労支援サイト運営事業		806千円	806千円	806千円	806千円	806千円	806千円	
労働者福祉事業委託		980千円	980千円	980千円	980千円	980千円	880千円	
事業の実績の推移		単位	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25予定
就労支援サイト運営事業		アクセス数	30,000	33,000	35,600	84,100	76,700	70,000
労働者福祉事業委託		事業数	-	-	4事業実施	5事業実施	4事業実施	5事業実施
<b>他自治体との比較</b>								
自治体名	就労支援サイト運営事業	労働者福祉事業委託	労働者福祉事業委託団体		要素4	要素5		
明石市	756千円	880千円	明石労福協					
神戸市	実施なし	600千円(運営補助)	神戸労福協					
稲美町	実施なし	500千円(運営補助)	東播労福協					
播磨町	実施なし	300千円(運営補助)	東播労福協					
加古川市	実施なし	3,000千円(運営補助)	東播労福協					
高砂市	管理運営費として133千円	1,600千円(運営補助)	東播労福協					
姫路市	3,500千円	7,200千円(運営補助)	姫路労福協					